

2023年度事業の執行概要について

I 概要

本会は、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏づけられた食と栄養の指導及び支援に関する事業を行い、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的としている。この目的を達成するために管理栄養士・栄養士活動を効果的に行う体制づくり構築のための公益目的事業の充実を図る。具体的には、県民のライフステージの特性に合わせた食育の推進による健康増進のほか、高齢者のフレイル・サルコペニア等の低栄養予防、糖尿病を中心とした疾病の重症化予防等の栄養改善活動をすべての会員がそれぞれの立場で協力し推進することが重要である。

また、災害時の食生活支援や地域における多職種との連携による栄養ケアの充実などの体制整備について継続するとともに、これらに対応できる人材育成を目的とした研修事業を開催した。

COVID-19への感染対策については5月8日以降2類から5類に緩和したが、理事会、研修事業等はその時の状況によってマスク着用、あるいはWebを活用するなど感染状況を踏まえた事業執行を継続した。

その他、各職域事業部や地域事業部においては、時代のニーズに基づいたタイムリーな事業を展開した。これらの目的を達成するため理事および運営委員が事業の執行について協力することができた。

【スローガン】

① 医療から介護・在宅にいたるまでシームレスな栄養ケアを実現します

高齢者では、病院での治療が終了すると介護施設や在宅に退院する。入院中に医師及び管理栄養士をはじめとしたチームによる栄養管理により、栄養状態が改善することで疾病が安定し、症状が回復し退院となる。しかし、退院後の食生活が原因で再入院となるケースを経験する。そこで、入院時から退院、その後住み慣れた地域の施設や在宅においてもシームレスに栄養ケアが継続されるシステムを構築することで、地域包括ケアシステムに貢献することができる。

② 持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた食育を推進します

SDGsでは、17の目標が掲げられている。たとえば、「飢餓をゼロに（目標2）」、「すべての人に健康と福祉を（目標3）」など食事・栄養に関する、あるいは関連する目標が掲げられておりこれらを理解したうえで活動を行うことが重要となる。

II 業務部事業報告

1. 総務部

1-1 基本方針

本会予算の財源である会費収入はここ数年間減少傾向であったが、昨年度は徐々に回復しつつある。そこで、さらに会員増を進めつつ業務における経費の削減により事業への有効活用を進めて行く。また、各事業における収支のバランスを維持しつつ、会員サービスや県民公開講座等の栄養改善活動や災害支援における協力体制の構築を行うなど公益事業の充実を図ることが重要である。

本会の運営基盤を充実するためには事務局の整備が重要であり、総務部の所管である事務局運営が円滑に行えるよう事務員の強化及び各事業部と連携し整備していく。

1 - 2 主な事業

【主な内容】

- ① 公益社団法人としての義務である事業計画（3月末）及び事業報告など（6月末）について、Web上の公益インフォメーションを通じて期日内に適切に作成し提出する。
- ② 本会では埼玉県と災害時における栄養・食生活支援に関する協定を締結（2020年8月）しておりこれに伴いさらなるJDA-DATのチーム編成の構築と充実を図り、災害時に活動できる体制を構築する。またメンバーのスキルの向上のため年1回のFollow up研修を実施する。
- ③ 京浜地区栄養士会と協力体制について協議し、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）と本会のJDA-DATチームとの連携を構築し県民への支援体制を強化していく。また災害時における本会の事業継続計画（BCP）、賛助会員との物資提供マニュアルを作成する。
- ④ 「非常災害時における食事マニュアル」の改訂をすすめ、第2版の発行を目指し会員にマニュアルの周知をしていく。
- ⑤ 埼玉県健康長寿プロジェクト、食育推進計画など県民の健康増進やフレイル・サルコペニア予防、介護予防等にかかる事業に協力するための財源を確保する。
- ⑥ 公益会計基準に則った適切な会計処理を行うために、事務局の経理・管理体制を円滑に進めていく。
- ⑦ 無料職業紹介所として義務づけられている月次報告書を作成し提出する。
- ⑧ 公益法人として一般県民等からの寄付金募集について広報活動を行う。
- ⑨ 埼玉県栄養士会創立50周年記念事業として記念誌を発行する（2024年1月発行）。
- ⑩ 会員管理において退会者を把握するため、退会者からは必ず退会届を提出するように徹底する。
- ⑪ 従業員の就業規定、雇用保険や法人の事務処理規定等の定期的な見直しを実施し公益社団法人としての適正な運営を行う。
- ⑫ その他

1 - 3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由等)
共通	定時総会 栄養士大会	<p>(要旨) 総会は、本会の定款に従い、事業内容を協議するための最高決定機関である。また、埼玉県主催の栄養士大会に協力する。</p> <p>(意義と必要性) 職能団体としての方向性を協議し、事業の執行を決定していく。 また記念講演として、広く県民の健康増進に関する内容を取り上げ、県民に対して健康増進についての啓発活動を行う。</p> <p>財源は会費を充てる。</p> <p>(実施状況) 開催日 6月7日(金) 場 所 埼玉県県民健康センター大会議室 参加費 無料 会員数 1,495名 出席者 61名(委任状 706名) 計 767名</p>
共通	理事会	<p>(要旨) 定款に基づき、本会の総会で決議した事項等について、業務の執行を協議、決定していく機関である。</p> <p>公益法人の理事は、理事会の構成員として、法人の業務上の意思決定に参画し、代表理事等の業務執行を監視する役割を担っている。善管注意義務、忠実義務などの義務は個々の理事に課せられており、義務違反等の場合には損害賠償責任を負うことがある。</p>

		<p>(意義と必要性) 総会において決議された内容について、計画・実施・報告を行う。 理事会は、法人の業務執行を決定し、理事の職務執行を監督とともに、代表理事を選定・解雇する権限を持っている。代表理事がその職務上の義務に違反し又は職務を怠っている等の場合には、解雇権限を適切に行使することも理事会の責務である。</p> <p>(開催日および内容) IV-運営に関する会議 表1 参照</p>
共通	常任理事会	<p>(要旨) 業務執行理事を中心に本会の運営や業務の執行について協議し、理事会への議案事項の確認・整理、日常業務の管理監督を行う。</p> <p>(意義と必要性) タイムリーな話題について協議し、理事会での専決事項を明確にすることで理事会のスムーズな運営につなげる。</p> <p>(開催日および内容) IV-運営に関する会議 表2 参照</p>
共通	賀詞交歓会	<p>(要旨) 埼玉県知事を始め、県担当部門及び各種関連団体との交流を図るとともに、会員相互の親睦を図る。</p> <p>(意義と必要性) 本会が行う事業を円滑に執行するためには、会員相互の親睦と賛助会員の協力及び行政機関、関連団体の理解が必要である。新年を迎えるにあたり、関係者が一堂に会し本会運営について理解を深める。 財源は本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 期日 2024年1月20日(土)12:00～14:30 場所 ロイヤルパインズホテル浦和 参加費：10,000円 参加者：108名</p>
公2	災害時支援（継続事業）	<p>(要旨) 東日本大震災を教訓にして、不幸にも巨大地震等の大規模災害が発生した時の県民等に対する本会の行動支援計画を示すと共に、京浜地区及び近県で発生した時の本会の行動支援体制について示すものである。また、日本栄養士会JDA-DATへの協力体制を構築する。</p> <p>(意義と必要性) 本会における非常災害時における活動、支援体制、行政及び地域との連携、賛助会員である食品業者との協力体制を明確にすることで県民への支援を円滑に行うことができる。 財源は、本会会費と参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 1.JDA-DAT活動連携及びfollow up研修会</p> <p>(要旨) 本会会員のJDA-DAT活動賛同者を県内の地域事業部にチーム編成し活動できる体制を構築していくことで災害時の活動をスムーズにしていく。説明会は活動の内容やチームの編成について賛同した会員理解してもらう。Follow up研修では基本研修、リーダー研修で学んだことを共有し、災害時の連携効果を図る。</p>

		<p>(意義と必要性) 説明会においては、JDA-DATの役割と必要性を会員に周知してもらいfollow up研修では活動がスムーズにできるように訓練として位置づける。 財源は本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(開催日時及び内容)</p> <p>説明会 6月17日(土) (参加者 24名)</p> <p>場 所 埼玉精神神経センター(対面のみ)</p> <p>研 修 JDA-DATチーム編成と活動について パッククッキングについて JDA-DAT号を知る(操作方法等) ★JDA-DAT基本研修受講済者を対象としている</p> <p>2.日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)基本研修会</p> <p>期 日 2024年2月3・4日(土・日) (参加者 28名)</p> <p>場 所 埼玉県栄養士会研修室</p> <p>1日目 研修1 JDA-DATについて 講師:埼玉県栄養士会会长 平野孝則 研修2 埼玉県の災害対策 講師:埼玉県災害対策課災害担当 研修3 災害時の食事(パッククッキングの演習含む) 講師:埼玉県栄養士会副会長 前川哲雄 埼玉県栄養士会理事 加藤章子</p> <p>研修4 災害時の支援の実際について 講師:日本栄養士会専務理事 下浦佳之</p> <p>2日目 研修1 災害の理解・コミュニケーションスキル 研修2 栄養アセスメントと指導と相談 研修3 クロスロード(防災シミュレーションゲーム) 研修4 DiMS登録及びグループLINEについて</p> <p>* 2日目の研修1、2はビデオ研修</p> <p>参加費 2,000円(会員のみ)</p>
管理	事務管理マニュアルの作成	<p>(要旨) 本会の事務管理は複雑である。会員及び賛助会員の管理、経理業務、事業運営、広報、備品管理等についてのマニュアル化を行う。</p> <p>(意義と必要性) 事務局業務の軽減と理事及び非常勤パートの業務の適正化、見える化のために必要である。 財源は、本会会費を充てる。</p> <p>(実施状況) 次年度に継続する。</p>
共通	総務部会	<p>(要旨) 本会の事務局体制を維持、強化していくため、事務局と連携して事務処理の充実と管理運営に関する業務を行う。</p> <p>(意義と必要性) 公益社団法人として必要書類や会計処理についてのマニュアルを作成する。本会の管理運営について、会計処理及び帳票類等の諸規定については、公認会計士、弁護士等に依頼し公益法人として相応しいものに改定する。また、事務管理マニュアル等と併せて理事会に提案する。</p> <p>(開催日および内容) IV-運営に関する会議 表3-1 参照</p>

2. 企画学術部

2-1 基本方針

日本栄養士会の生涯教育制度について会員が理解して、認定管理栄養士・認定栄養士を目指せるよう基本研修や実務研修を充実して行く。また、基本研修会の一部を地域事業部と協働して開催するなど、地域の活性化に繋げる。

実務者研修会では、最新の各種病態ガイドラインや栄養・食育、食品衛生に関する情報など現状のニーズに基づいたタイムリーな研修事業をすすめる。

これらすべての事業を効率的かつ標準的に実施し、それぞれの事業評価を行う体制を作る。

2-2 主な事業

① キャリアアップのための生涯教育制度・認定制度

生涯教育制度とスキルの到達度に応じた各認定制度について、研修会やホームページなど必要に応じて紹介し、管理栄養士・栄養士のスキルの向上と専門職としての能力の習熟に向けた取り組みを強化していく。

② 生涯教育研修会

日本栄養士会の生涯教育研修会（基本・実務）のeラーニングを推進・活用しつつ、本会では栄養ケアプロセス（NCP）を理解し現場で実践的に活用できるよう演習や検討などの研修会を行うなど、専門性の更なる向上にむけて支援を充実していく。また実務者研修会では地域事業部からの提案を元に、最新の各種病態ガイドラインや栄養・食育等に関する研修会なども取り入れて、専門的・学術的な知識を養う。生涯教育研修会は、非会員や他職種への参加を積極的に促し、公益社団法人としての役割を明確に發揮していく。

③ 公開講座の開催（栄養CSとの連携）

公益目的事業として管理栄養士・栄養士のみならず他職種や県民のニーズに基づいた事業を行う。尚、公開講座については定時総会及びその他、市民公開講座事業等を開催する。

④ 栄養ケア実務者研修会（2日間）（栄養CSとの連携）

地域包括ケアシステムの構築に対応するため、栄養ケア・ステーションにおける在宅栄養ケアを担える潜在管理栄養士等の発掘及び育成により人材確保を行う。

日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションの設置に向けての受講を促進するとともに地域の医療施設等の管理栄養士の理解を得ることにより、埼玉県栄養士会の医療介護地域連携拠点となる栄養ケアユニットを公募する。

その他、各市町村からのニーズが想定される地域ケア会議のアドバイザーおよび高齢者に対しての保健指導、介護予防に関する事業を担当できる資質をもった管理栄養士を育成する。

⑤ 管理栄養士・栄養士ファーストステップ（初任者）研修会

本研修会は、ファーストレベルの主に新任者（就業1～3年目程度）を対象としたプログラムである。非会員を含む管理栄養士・栄養士、または休業後の復帰を目指す潜在の管理栄養士・栄養士を対象として職業倫理等生涯教育基本研修必須プログラム及び栄養マネジメントや栄養指導の演習などを通じてスキルアップを図り、県民への公衆衛生の向上に寄与する。また、栄養士会への理解を深め組織強化につなげる。

⑥ 地域ケアを推進するための研修会（地域活動事業部との連携）

地域包括ケアシステムの構築が進むなか、管理栄養士の顔の見える関係作りのみならず多職種との連携が重要となる。医療・介護・福祉施設及び在宅においてシームレスな栄養ケアを推進するため各地域事業部が中心となり栄養療法及び栄養管理についてのアウトカム評価に関する研修会を実施する。

⑦ 各研修会の開催方法

会場での集合型を基本とし、状況に応じてZoomなどを利用したオンラインのハイブリッド型で実施する。またオンラインの特徴を活用し幅広く参加を募集するとともに、国内全域の講師の招聘を検討する。

2-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由等)
公1	生涯教育研修会	<p>1-1-1生涯教育研修会 (要旨)</p> <p>管理栄養士・栄養士が質の高い事業を行うためには常に新しい情報を持つことはプロとして必須である。それぞれの分野における第1人者を講師に招くとともに学ぶ機会を設ける。学び得たものは、県民の栄養改善の指導・支援に活用し、県民の公衆衛生の向上に寄与する。 (意義と必要性)</p> <p>事業を開催することにより、栄養に関する知識を習得でき、県民の健康・公衆衛生の向上に貢献する。本研修は、管理栄養士・栄養士のほか、他専門職種も対象とする。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。 (実施状況)</p> <p>第1回生涯教育研修会 (参加者 66名)</p> <p>期 日 8月26日(土)</p> <p>場 所 埼玉精神神経センター及びZoomによるオンライン開催</p> <p>講演I 摂食嚥下障害への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多職種チームで目指す、より良い摂食嚥下診療 ② 管理栄養士に知ってほしい、食べるための口腔機能 <p>(実務1単位 23-1118)</p> <p>共 催 株式会社フードケア</p> <p>講 師 ① 埼玉医科大学病院歯科口腔外科 大久保正彦 ② 埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科 関根達朗</p> <p>講演II 糖尿病治療ガイドラインにおける栄養食事療法の最新の情報 (実務1単位 23-1048)</p> <p>講 師 獨協医科大学総合医療センター准教授 土屋天文</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p> <p>第2回生涯教育研修会 (参加者 68名)</p> <p>期 日 10月28日(土)</p> <p>場 所 十文字学園女子大学及びZoomによるオンライン開催</p> <p>講演I 高齢者のフレイル予防と低栄養改善について ～栄養ケア・マネジメントのアウトカム～</p> <p>(実務1単位 23-122)</p> <p>共 催 日清オイリオグループ株式会社</p> <p>講 師 SOMPOケアアーズ株式会社栄養管理部部長 麻植有希子</p> <p>講演II 知っておきたい乳幼児への栄養の指導 (実務1単位 23-114)</p> <p>講 師 相模女子大学栄養学部健康栄養学科教授 堤ちはる</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p> <p>第3回生涯教育研修会(中止)</p> <p>期 日 11月 25日(土)</p> <p>場 所 栄養士会研修室</p> <p>講 演 《演習》栄養ケアプロセス・栄養診断 (基本必須1単位 4-4)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長・城西大学薬学部特任准教授 水野文夫</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p>

		<p>第4回生涯教育研修会 (参加者 27名)</p> <p>期 日 2024年2月24日(土)</p> <p>場 所 埼玉精神神経センター及びZoomによるオンライン開催</p> <p>講演Ⅰ 経腸栄養と腸内細菌～腸内フローラからみた経腸栄養管理 (実務1単位 23-101)</p> <p>共 催 (株)クリニコ</p> <p>講 師 田無病院 院長 丸山道生</p> <p>講演Ⅱ 健康長寿におけるビタミンCの役割 (基本必須1単位 2-5)</p> <p>講 師 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 石神昭人</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p> <p>第5回生涯教育研修会 (参加者 6名)</p> <p>期 日 2024年3月16日(土)</p> <p>場 所 栄養士会研修室</p> <p>講 演 《演習》栄養ケアプロセス・栄養診断2 (基本必須1単位 4-4)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長・城西大学薬学部特任准教授 水野文夫</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p>
公1	研修会	<p>1-1-2 地域栄養ケア実務者研修会 (要旨)</p> <p>地域で未就業の潜在管理栄養士・栄養士及び地域での栄養ケア活動に関心のある管理栄養士・栄養士を対象とする。2日間修了者には、栄養ケア育成研修会終了証を発行する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>在宅医療・介護の基礎知識と、現場で活躍できるよう実践的な演習を組み合わせた研修会で、現在県内においても構築されつつある地域包括ケアシステムにおいて多職種連携として活動できる管理栄養士の育成を目指して実施する。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>期 日 7月22・23日(土・日) (参加者 32名)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>参加費 8,000円(会員 4,000円)</p> <p>内 容</p> <p>1日目</p> <p>講義Ⅰ 本会における認定栄養CSと栄養ケアユニットについて</p> <p>講義Ⅱ 診療報酬・介護報酬の改定による栄養CSの役割 (業務委託契約、連携など)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講義Ⅲ 介護保険2021及び介護報酬2022の改定(栄養関係) ～地域における介護保険と診療報酬についての基礎知識～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 副会長 前川哲雄</p> <p>講義Ⅳ 1.施設系サービスにおける栄養ケア・マネジメントの充実 ・栄養マネジメント強化加算(ポイント) 2.通所系サービス等における栄養ケア・マネジメントの充実 ・口腔・栄養スクリーニング加算 ・栄養ケア・マネジメント加算 ・栄養改善加算 ～各事例による様式の記入方法について～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会福祉事業部 和多勝弘</p>

		<p>講義V 栄養食事指導の基本 主な疾患別指導例 講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫</p> <p>2日目</p> <p>講義VI 摂食・嚥下機能障害患者への栄養ケア 講 師 キッセイ薬品工業(株) 中澤尚武</p> <p>講義VII 自立支援型地域ケア会議の概要 講義VIII 自立支援型地域ケア会議の実際 講 師 (公社)埼玉県栄養士会栄養CS部長 川嶋啓子</p> <p>講義IX 訪問栄養食事指導の実際 講 師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子</p> <p>演習I 事例から学ぶ訪問栄養食事指導 講 師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子</p>
公1	研修会	<p>1-1-3 管理栄養士・栄養士ファーストステップ(初任者)研修会 (要旨)</p> <p>管理栄養士・栄養士が質の高い業務を行うためには常に新しい情報を持つことはプロとして必須である。新任栄養士あるいはブランクのあった栄養士を対象として、最新の栄養情報と栄養管理に関する基本的な知識を学ぶ機会を設ける。学び得たものは、県民の栄養改善の指導・支援に活用し、県民の公衆衛生の向上に寄与する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>事業を開催することにより、栄養士として身に着けておきたい知識が習得でき、県民の健康・公衆衛生の向上に貢献する。</p> <p>本研修は、管理栄養士・栄養士を対象とする。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>管理栄養士・栄養士ファーストステップ(初任者)研修会</p> <p>期 日 9月30・1日(土・日) (参加者8名)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>参加費 6,000円(会員 3,000円)</p> <p>1日目</p> <p>講演I 本会の概要、オリエンテーション専門職としての役割と倫理 講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講演II 日本人の食事摂取基準2020年版の考え方とその活用 (基本必須1単位2-3)</p> <p>講 師 城西大学薬学部准教授 加藤勇太</p> <p>講演III 栄養マネジメントの基本(身体計測実習含む) (基本必須1単位4-3)</p> <p>講演IV 栄養の指導と栄養ケアプロセス (基本必須1単位4-1)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫</p> <p>2日目</p> <p>講演V 小児食物アレルギーへの対応と最新情報 ~食事提供に関する注意点~ 講 師 埼玉医科大学病院 小児アレルギーエデュケーター 関澤藍</p> <p>講演VI 学会分類と摂食嚥下困難者への対応 講 師 キッセイ薬品工業(株) 中澤尚武</p> <p>講演VII 地域における栄養ケア ~栄養ケア・ステーション活動とその役割~</p>

		<p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会常任理事 川嶋啓子 講演Ⅲ 介護保険と診療報酬改定における管理栄養士の役割 講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 前川哲雄 グループワーク テーマ：社会に求められる栄養士を目指すには フリーディスカッション 質疑・応答</p>
公2	総会 公開講座	<p>1-2 定時総会 特別講演(公開講座) (要旨)</p> <p>特別講演では管理栄養士・栄養士のみならず、栄養・食育に関する知識の向上は健康増進には不可欠である。それぞれの分野における第1人者を講師に招くとともに学ぶ機会を設ける。県民の栄養改善に活用し、県民の公衆衛生の向上に寄与する。 (意義と必要性)</p> <p>事業を開催することにより、栄養に関する知識を習得でき、県民の健康・公衆衛生の向上に貢献する。</p> <p>本研修は、管理栄養士・栄養士の他、専門職種及び一般県民を対象とする。</p> <p>財源は本会会費とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>定時総会</p> <p>期 日 6月9日(金) (参加者 75名)</p> <p>場 所 埼玉県県民健康センター</p> <p>記念講演 最近の食中毒発生状況と予防について</p> <p>講 師 日本微生物研究所 佐藤寿夫</p> <p>特別講演 栄養だからできる認知症予防のとりくみ ~MCTの最近の知見を踏まえて</p> <p>共 催 日清オイリオグループ(株)</p> <p>講 師 日清オイリオグループ(株)中央研究所研究第7課主管 渡邊慎二</p> <p>1-2-1 健康づくり提唱のつどい(共催 ヤクルト)</p> <p>期 日 12月23日(土) (参加者 76名)</p> <p>場 所 埼玉県県民健康センター</p> <p>講 演 「腸から整えるカラダとココロ」</p> <p>講 師 (株)ヤクルト本社広報室学術編集班参事 小笠原伸浩</p> <p>記念講演「ジャパンニュートリションを世界に」 -日本の栄養の過去・現在・さらに未来にむけて-</p> <p>講 師 (公社)日本栄養士会代表理事長 中村丁次</p>
共通	企画学術部会	<p>(要旨)</p> <p>企画学術部会の開催により、事業の企画運営についての検討を行う。 (意義と必要性)</p> <p>生涯教育等の計画を行うと共にアンケート等により実施後の評価を行うことで研修事業の充実を図る。また、理事会で各事業の進捗状況や結果報告を受けて協議し、調整を行う。</p> <p>(開催日及び内容)</p> <p>IV-運営に関する会議 表3-2参照</p>

3. 広報部

3-1 基本方針

機関誌、広報紙やホームページを通じて県民及び会員への栄養・食育に関する情報提供を行い、県民に対して健康増進に寄与する。また、各業務部、事業部との連携を図る。

3-2 主な事業

①機関誌「いしづえ」、広報紙「埼栄ニュース」の発行及び発信方法の検討

- ・メール配信サービスを充実するためにメール登録の推進
- ・郵送とメール配信を併用する

②会員サービスを重視したホームページの運営・更新の充実

- ・毎月、更新ページを明確にしたタイムリーな情報の発信
- ・ホームページの内容を強化、整備を進める
- ・総会資料をホームページに掲載する。

③SNSを活用した会員ネットワークの構築

最新情報の提供を図り会員サービスの利便性及び情報共有の向上を図る

プライバシーポリシーを改定するとともに、SNS利用規約を作成する

グループLINE運用マニュアルを作成しグループLINEを運用する

Facebookの充実を図りつつ、その他の情報発信についても検討する。

④賛助会員等への広告、ホームページのバナー広告等の公募

⑤県民に対する栄養情報の作成の発信

3-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (事業報告)
公1 管理	機関誌 「いしづえ」	<p>(要旨)</p> <p>管理栄養士・栄養士の専門性の向上に関する情報の発信、各種事業及び研修会の予定や報告を行う。また、会務報告や賛助会員の紹介を行う。さらに、県民に関する情報発信として栄養・食育、食品の安全安心に関する情報を掲載する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>県民に対しての栄養改善、健康の保持増進を行うための情報発信と本会会員への情報提供により自己啓発を行うことに貢献する。</p> <p>財源は、本会会費及び広告料とする。</p> <p>(発行日)</p> <p>No.163 9月15日 No.164 2024年2月20日</p>
公1 管理	広報紙 「埼栄ニュース」	<p>(要旨)</p> <p>県民に対する栄養指導用媒体などの情報発信と各種事業及び研修会の予定や求人案内等を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>県民に対しての栄養改善、健康の保持増進を行うための情報発信と本会会員の自己啓発を行うことに貢献する。</p> <p>財源は、本会会費及び広告料とする。</p> <p>(発行日)</p> <p>No.85 4月28日 No.88 10月20日 No.86 6月30日 No.89 12月10日 No.87 8月1日</p>
公1 管理	ホームページ	<p>(要旨)</p> <p>本会の概要と目的を明記し、栄養、健康に関する情報の発信と県民への栄養改善、健康維持等に関する公開講座等の予告を行うことにより啓発活動を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>公益社団法人として本会の目的、事業内容、会務等の情報公開を行うことで県民への広報活動を行う。また、栄養・食事に関する情報を掲示するなど、職能団体として広く社会に貢献するために活用する。</p>

		<p>定期的に更新することで、常に新しい情報を発信できる。 財源は、本会会費及び広告料とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>研修会や埼栄ニュース、無料職業紹介等をはじめ情報発信をタイムリーに実施した。関連団体からのお知らせを発信して連携を図った。賛助会員の紹介として入会案内、会員一覧、お知らせのメインメニューを設け簡潔にした。栄養ケア・ステーション、栄養ケアユニットの紹介内容を充実させた。会員限定のページに栄養ケア・ステーションと診療所等との契約について、様式等ダウンロードを可能とした。</p>
共通	SNSを活用した会員ネットワークの構築	<p>(要旨)</p> <p>SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した会員ネットワークの構築を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>SNSを活用し最新情報の提供を図り会員サービスの利便性及び情報共有の向上を図る。</p> <p>(実施状況)</p> <p>日本栄養士会のメール配信システムを活用し、研修会等のご案内を配信した。デジタル化の推進のため、会員にシステム登録を促した。SNS利用規約を検討した。LINE(ライン)アプリを活用し理事メンバーで運用方法を検討した。プライバシーポリシーの改定案を検討した。</p>
共通	フェイスブック	<p>(要旨)</p> <p>栄養、健康に関する情報の発信と県民への栄養改善、健康維持等に関する公開講座、研修会等の予告や報告を行うことにより、啓発活動を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>公益社団法人として本会の目的、事業内容、会務等の情報公開を行うことで県民への広報活動を行う。また、栄養・食事に関する情報を掲示するなど、職能団体として広く社会に貢献するために活用する。</p> <p>定期的に更新することで、常に新しい情報を発信できる。</p> <p>財源は、本会会費とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>研修会、研修会報告、本会の活動報告の情報発信を行った。ホームページの更新に合わせてフェイスブックも更新しタイムリーな配信に務めた。</p> <p>(フェイスブックは企画学術部が4月26日～2024年3月9日まで担当した)。フォロワー数 93名(2024年3月現在)</p>
公2	研修会申し込みの簡素化	<p>(要旨)</p> <p>研修会の申し込みをホームページから行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>案内から切れ目無く申し込み手続きが完了し、参加人数の増加が期待できると同時に、参加者名簿の一元管理が可能になり事務処理の効率化も図ることができる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>研修会申し込みをホームページから実施出来るようにして利便性、効率化を図った。</p>

公2	賛助会員等への広告の公募	(要旨) 賛助会員等への広告の公募を行う。 (意義と必要性) 法人事業を賛助する個人又は団体に対して、総会資料や埼玉ニュース、ホームページ、いしづえの広告の公募を案内し、法人事業の費用に充て活動の充実を図ることができる。 (実施状況) 9団体より申し込みがあった。
公2	県民に対する栄養情報パンフレット等の作成	(要旨) 県民に対する栄養情報パンフレット等の作成を行う。 (意義と必要性) 県民に対して栄養・食に関する科学的根拠に基づいた内容をわかりやすく伝え、正しく理解してもらうことで健康の維持増進が期待できる。 (実施状況) 「栄養一口メモ」としてテーマごとに発信した
共通	広報部会	(要旨) 広報部会の開催により、広報活動の日程・担当者等を決定する。 (意義と必要性) 各事業部及び事業部と連携し、計画的に会議を行なうことで効率的に広報活動を行なう。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表3-3参照

4. 組織部

4-1 基本方針

本会の運営は会費が主な財源となっていることから、組織強化を図る上で、就業している管理栄養士・栄養士の把握やそれらの入会率を調べて現状の把握に努める。また、退会の理由や会員のニーズを調査し会員サービスの向上に努める。さらにポイントカードの周知を図り多くの会員の使用を促進する。

4-2 主な事業

- ① 会員の動向の把握（会員数、表彰者の把握）
- ② 会員増対策
 - ・入会案内等を活用し養成校や行政機関等に出向いてPRを行う。
 - ・非会員に周知出来るよう、入会案内等を関係機関、保健所等に配布し、ホームページに掲載する。
 - ・新入会の増加のみでなく、継続会員の増加を図るため各事業部と連携する。
 - ・退会希望会員に対しては、埼玉会員を紹介する。
- ③ ポイントカードの活用について再検討し、利用を促進する。新入会会員、賛助会員の紹介によるポイント付加をさらに周知する。
- ④ 広報部と連携して会員に対してメールマガジンやフェイスブック等を利用した情報伝達の効率化を図る。
- ⑤ 賛助会員用入会案内を活用して、食・栄養関連企業への勧誘を行う。
- ⑥ 栄養ケア・ステーション部と連携し、各事業における人材バンク登録者を把握する。
- ⑦ その他、組織強化のための事業を推進する。

4-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益も目的事業である理由など)
管理	管理栄養士・栄養士の実態把握	<p>(要旨) 埼玉県内の管理栄養士・栄養士の資格取得数及び管理栄養士・栄養士として就労しているものの把握を行う。</p> <p>(意義と必要性) 実態把握することで、県内における栄養士就労者の入会率60%を目指す。</p> <p>(実施状況) 県内の管理栄養士・栄養士数の把握を行った。 新規入会、再入会及び所属会員の出身養成校の把握を行った。</p>
管理	会員サービスの向上	<p>(要旨) 研修会の参加者を対象に本会に対するアンケート調査、課題の分析を行うことで会員サービスの向上を図る。</p> <p>また、メールやホームページ、LINE等により研修会風景報告等広く情報の伝達を行う。</p> <p>(意義と必要性) 実施結果を基に魅力ある本会運営に役立てる。また、インターネット、SNS等を通じて会員相互の関係を構築することができる。</p> <p>財源は本会会費とする。</p> <p>(実施状況) フェイスブックを活用して、研修会の案内や研修会風景を報告した。各事業部でコミュニティ広場を開催し、会員間の情報共有の場を作り、会員サービスの向上につなげた。</p>
管理	会員増対策 ポイントカード	<p>(要旨) 入会のしおりを活用して、養成校、行政機関や栄養士の複数配置されている大規模給食施設へ勧誘に出向く。入会することの利点等を理解して頂き会員増へつなげる。</p> <p>また、ポイントカードの周知や総会、各種研修会の参加者にポイントカードを付加した件数等、ポイント取得割合等を集計する。</p> <p>(意義と必要性) 保健所等の公共施設及び養成校、県社協、大規模給食施設等新入会につながる施設を調査し、各施設へ協力依頼を行うことで、会員増につなげる。</p> <p>また、ポイントの取得率やポイントの利用率等を評価することで、ポイントカードの有効性を評価することができる。</p> <p>財源は本会会費とする。</p> <p>(実施状況) 入会のしおりを県内養成校・県外近隣養成校の担当教師に配布及び養成校毎の新規入会、再入会及び所属会員数をフィードバックし、卒業生等に対して入会への勧奨協力を依頼した。</p> <p>また、ポイントカードについては、Zoom研修会中心となり、活用が休止されていた。次年度より運用再開を計画する。</p>
管理	埼玉会員の周知	<p>(要旨) 定年退職や出産・育児休暇、介護休暇等の理由で経済的に継続が困難となった会員に対して埼玉会員制度を紹介する。</p> <p>(意義と必要性) さまざまな経済的理由で退会を希望する会員に対して、特例として日本栄養士会を退会しても埼玉県栄養士会の会員のみを継続するシステムを構築する。また、継続して埼玉会員として活動を行うことで県民に対しての栄養改善事業を充実することができる。</p>

		(実施状況) 2024年3月31日現在 埼玉会員登録者3名
共通	優良栄養士表彰 埼玉県栄養士会 日本栄養士会	(要旨) 県民に対し多年にわたり栄養改善に貢献された管理栄養士・栄養士、或いは本会発展に永年にわたり寄与したものに表彰する。 (意義と必要性) 本会の趣旨に賛同し、多年にわたり県民の健康増進に寄与されたものを表彰することで、その活動を評価し感謝の意を表する。 (実施状況) 2023年度優良表彰者は、日本栄養士会表彰15名、埼玉県栄養士会表彰14名であった。
共通	埼玉県知事表彰 候補者の推薦	(要旨) 埼玉県栄養士関係功労者表彰実施要綱に基づいて、栄養改善及び食生活改善の普及向上等に功績のあった者で、本会の運営に貢献した栄養士を推薦する。 (意義と必要性) 栄養指導功労者を推薦することで、功労のあった者の労苦に報いるとともに、栄養行政の一層の推進に資するものである。 (実施状況) 2023年度知事表彰は5名、4施設であった。
共通	組織部会	(要旨) 具体的で効率的な組織強化を検討し、会員増に向けて活動を行う。 (意義と必要性) 各業務部及び事業部と連携し、計画的な会議で準備を行うことで効率的に組織強化に関する活動を行うことが出来る。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表3-4参照

5. 栄養ケア・ステーション部

5-1 基本方針

栄養ケア・ステーションの拠点整備を図ることにより、食育の推進、栄養改善、傷病者への栄養食事指導、高齢者への介護予防等を通じて、県民の福祉の向上と健康増進に寄与する。また、これらの事業を開拓するにあたり県内市町村保健センター、地域包括支援センター、クリニック等への広報活動を進めて行く。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けて、栄養ケアの地域連携拠点である栄養ケアユニット、日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションの設置を推進する。

5-2 主な事業

- ① 国、県、市町村並びに関連団体が行う健康づくり事業へ参画する。
 - ・栄養に関する各種施策への要望による参加協力
健康長寿埼玉県民会議、埼玉県食育推進会議などへの協力
- ② 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催事業への参加協力
 - ・米まつり栄養相談（食と農林業ドリームフェスタ）
各種団体と共に参加するなかで、栄養・食のスペシャリストとして、健康・栄養相談等を行うことにより県民に管理栄養士・栄養士を身近に感じていただく絶好の機会とする。
 - ・県産米粉を使ったクッキング、おにぎり教室など食育推進を目的として各地域の、児童福祉施設などで実施し、県産米の米粉消費拡大を図っていく。なお、新型コロナウイルス感染症の終息を前提とする。
 - ・無料栄養相談、市民公開講座の開催（月1回程度）

本会研修室を地域コミュニティ拠点として、県民に対して異議ある事業とする。本会研修室で健康・栄養相談、公開講座を実施することで県民の健康増進を図るとともに地域に根差した栄養士会の活動の活性化を図る。なお、新型コロナウイルス感染症の終息を前提とする。またリモートによる公開講座を開始し、講座で使用した媒体についてはホームページ、YouTube等に公開していくことをめざし、公益法人としての役割を果たす。

③ 地域コミュニティにおける栄養講座

(健口教室・健口づくり交流会・さいたま市栄養地域活動支援事業)

・県内の地域包括ケアシステムのコミュニティヘルスに貢献できる栄養ケア体制を整備する。地域で生活する高齢者を対象に栄養講座を行う。

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防、重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県と連携しつつ市町村が一体的に実施する。

④ 栄養ケア実務者研修会（企画学術部と連携：再掲）

地域包括ケアシステムの構築に対応するため、栄養ケア・ステーションにおける在宅栄養ケアを担える潜在管理栄養士の発掘及び育成により人材確保を行う。日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションの設置に向けての受講を促進するとともに地域の医療施設等の管理栄養士の理解を得ることにより、埼玉県栄養士会の医療介護地域連携拠点となる栄養ケアユニットを公募する。その他、各市町村からのニーズが想定される地域ケア会議のアドバイザー及び高齢者に対しての保健指導、介護予防に関する事業を担当できる資質を持った管理栄養士を育成する。

⑤ 疾病の重症化予防

県内の各地域のニーズに応じて疾病の重症化の予防として、生活習慣病リスク者に対して栄養指導を実施する。

⑥ 地域ケア会議アドバイザースキルアップ研修会の開催（情報交換会）

地域ケア会議にアドバイザーの管理栄養士を対象にスキルアップを目的として担当者による情報共有及び事例検討会を行う。なお、県地域包括ケア課主催で同様の研修会を行う場合は実施しない。

⑦ 域栄養ケア連携会議

各栄養ケアユニット、認定栄養ケア・ステーションの代表者による事業報告並びに情報交換、本会栄養ケア・ステーションとの連携を図ることを目的とし開催する。

また、本会会議への参加を認定条件とし、理由なく欠席の場合は認定を取り消すこともある。

⑧ 地域栄養ケアに対する支援（新規）

診療所、介護保険事業所等において栄養食事指導、栄養マネジメント等の依頼に対応するため、契約書等をホームページに掲載し管理栄養士の紹介など、ニーズに対応できる体制を整備する。

⑨ 無料職業紹介所の活用

県民へのサービスとしてホームページに掲載し管理栄養士・栄養士の紹介を行う。

5-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (事業報告)
公1	研修会	1-1 地域栄養ケア実務者研修会(企画学術部と共同で開催) (要旨) 地域で未就業の潜在管理栄養士・栄養士及び地域での栄養ケア活動に関心のある管理栄養士・栄養士を対象とする。2日間修了者には、栄養ケア育成研修会修了証を発行する。 (意義と必要性)

		<p>在宅医療・介護の基礎知識と、現場で活躍できるよう実践的な演習を組み合わせた研修会で、現在県内においても構築されつつある地域包括ケアシステムにおいて多職種連携として活動できる管理栄養士の育成を目指して実施する。</p> <p>財源は、本会会費及び受講料を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>地域栄養ケア実務者研修会 (参加者 29名)</p> <p>期 日 7月22・23日(土・日)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>内 容</p> <p>講義 I 認定栄養CS(機能強化型含む)と栄養CUについて (業務委託契約、連携など)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講義 II 地域包括ケアシステム構築に向けて管理栄養士への期待</p> <p>講 師 県福祉部地域包括ケア課 長谷川万由佳</p> <p>講義 III 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施について</p> <p>講 師 国保医療課福祉医療・後期高齢者医療担当 主査 松田美佐子</p> <p>講義 IV 地域における診療報酬・介護保険と県栄養CSとの役割</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講義 V エビデンスに基づいた栄養食事指導の実践 ～特定保健指導を含む～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 水野副会長</p> <p>講義 VI 高次脳機能障害患者の特性と食支援</p> <p>講 師 さいたま岩槻病院リハビリテーション科 蛭田知良</p> <p>講義 VII 認定栄養CSの活動の実際と課題</p> <p>報 告 認定栄養CSほほえみーる 管理栄養士 江田真澄会員 認定栄養CS日本調剤毛呂薬局 管理栄養士 高橋美穂会員</p> <p>講義 VIII 自立支援型地域ケア会議の概要と管理栄養士の役割</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会栄養CS部長 川嶋啓子</p> <p>講義 IX 訪問栄養食事指導の実際(演習含む)</p> <p>講 師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子</p>
公2	栄養改善、健康づくり及び生活習慣病予防に関する事業	<p>(要旨)</p> <p>栄養ケア・ステーション等を通じて生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活相談・指導、調理実習、展示等を通じて正しい知識の普及と実践への支援を進める事業</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>栄養相談等の栄養ケア事業を通じて栄養に関する知識を学び、栄養改善、健康づくり及び生活習慣病予防に寄与する。</p> <p>財源は本会会費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>1-1 無料栄養相談</p> <p>(要旨)</p> <p>無料栄養相談を開催し、県民の生涯を通じた栄養改善を指導・支援することで県民の公衆衛生の向上に寄与する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>無料栄養相談を通じて栄養に関する知識を学び、栄養改善、健康づくりおよび生活習慣病予防に寄与する。</p>

	<p>1-1-1 無料栄養相談及び市民公開講座 (相談件数 3件) 期 日 每月第1水曜日 (参加者延べ 92名) 場 所 栄養士会研修室 担当者 人材バンク</p> <p>1-1-2 栄養の日のイベント 栄養ワンダー 2023 (参加者 25名) 期 日 8月5日(土) 場 所 栄養士会研修室 担当者 理事</p> <p>1-1-3 彩の国食と農林業ドリームフェスタ 米まつりにおける骨密度測定・食生活相談 (参加者 200名) 期 日 11月25・26日(土・日) 場 所 熊谷スポーツ文化公園 担当者 北部事業部</p>
	<p>1-2 栄養相談</p> <p>1-2-1 2023看護デー 実施なし</p> <p>1-2-2 ヤクルト栄養相談 実施なし</p> <p>1-2-3 第57回全国糖尿病週間行事 実施なし</p> <p>1-2-4 イベントにおける食育・健康栄養相談-</p> <p>1-2-4-1 第47回歯の相談室 期 日 6月4日(日) 場 所 熊谷市母子健康センター 担当者 北部地域事業部</p> <p>1-2-4-2 第12回薬と健康フェア 期 日 6月18日(日) 場 所 熊谷市立文化センター文化会館 担当者 北部地域事業部</p> <p>1-2-4-3 第19回熊谷市産業祭 実施なし</p>
	<p>1-3 健康管理と食育講話</p> <p>1-3-1 税務大学校令和4年度研修生講座 実施なし</p> <p>1-3-2 埼玉県消費生活支援センター (参加者 40名) 期 日 8月29日 場 所 県内1か所(桶川市) 内 容 食品表示について学ぼう 担当者 人材バンク</p> <p>1-3-3 JA料理教室 (参加者 50名) 主 催 埼玉県農協生活指導員連絡協議会 期 日 6月14日・27日 場 所 さいたま市プラザイースト・嵐山町国立女性会館 担当者 人材バンク</p> <p>1-3-4 JA料理教室(きらきらセミナー) (参加者 12名) 主 催 JA埼玉県中央会、JA埼玉県女性組織協議会 期 日 9月29日 場 所 埼玉県信連浦和分室 担当者 人材バンク</p>

	<p>1-3-5 料理教室 (参加者 12名)</p> <p>主 催 障がい者交流センター</p> <p>期 日 6月22日 9月8日 1月14日</p> <p>場 所 障がい者交流センター</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-6 埼玉県内高校家庭科における骨密度測定会講師 (参加者 186名)</p> <p>主 催 埼玉県牛乳普及協会</p> <p>期 日 9月～11月</p> <p>場 所 県内3か所の高等学校</p> <p>内 容 骨密度測定後の講話</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-7 保育所におけるアレルギー食講習会講師 (参加者 60名)</p> <p>主 催 ニュータウンビルサービス(株)</p> <p>期 日 2024年2月21・22日(水・木)</p> <p>場 所 川口市青木会館</p> <p>内 容 食物アレルギーについて</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-8 地域介護予防活動団体への講話講師 (参加者 60名)</p> <p>期 日 6月・7月・10月</p> <p>場 所 上尾市平方地域包括・原一団地</p> <p>内 容 フレイル予防</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-9 加須保健所管内食生活改善推進員研修会 (参加者 35名)</p> <p>期 日 2024年2月29日(木)</p> <p>場 所 加須保健所</p> <p>内 容 栄養CSの活動内容及び事例紹介</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-10 令和5年度さいたま市通所型短期集中予防サービス事業 (参加者延べ 27名)</p> <p>期 日 10月29日 11月26日 12月24日</p> <p>場 所 デイサービスけやきホームズ</p> <p>内 容 栄養プログラム</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-3-11 (株)日さく (参加者 100名)</p> <p>期 日 5月11日(木)</p> <p>場 所 オンライン</p> <p>内 容 年代・性別ごとの食事のポイント</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-4 栄養教室</p> <p>1-4-1 県産米を使用した米粉親子クッキング及びおにぎり教室 (要旨)</p> <p>県産米を使用した米粉親子クッキング及びおにぎり教室を開催し、県民の生涯を通じた栄養改善・支援することで県民の公衆衛生の向上に寄与する。(意義と必要性)</p> <p>県民を対象に事業を行うことで栄養に関する知識を学び、栄養改善、健康づくり及び生活習慣病予防に寄与する。</p> <p>財源は委託料(埼玉県米消費拡大推進連絡協議会)とする。</p> <p>(実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域栄養セミナー「米の講演」 <p>期 日 11月11日(土) (参加者 35名)</p> <p>場 所 埼玉県製菓専門学校</p> <p>内 容 講義 「米について」</p>

	<p>担当者 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫 ・米粉親子クッキング (参加者 25名)</p> <p>期 日 12月9日(土)、12月9日(土) 場 所 プラザウエストキッチンスタジオ・鴻巣市吹上生涯学習センター</p> <p>担当者 人材バンク ・おにぎり教室 (参加者 79名)</p> <p>期 日 10月25日・27日(水・金) 場 所 あおぞら保育園・あおぞら ウィンクルム保育園</p> <p>担当者 人材バンク</p>
	<p>1-5 被留置者における食事の栄養分析事業</p> <p>(要旨)</p> <p>埼玉県警察本部総務部留置管理課等からの依頼を受けて、管理栄養士・栄養士が被留置者に支給する1日分の食事の栄養分析を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>被留置者に提供する弁当についての栄養量を計算することで、被留置者の提供栄養量を把握する。</p> <p>(実施状況)</p> <p>期 日 6月～2024年3月 (実施回数 4回)</p>
	<p>1-5-1</p> <p>(要旨)</p> <p>飲食店より依頼を受けて、管理栄養士、栄養士がメニューの栄養分析を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>飲食店のメニューについての栄養量を計算し示すことで、埼玉県健康づくり協力店となることができる。</p>
	<p>I-6 さいたま市健口教室・健口づくり交流会・さいたま市栄養地域活動支援事業</p> <p>(要旨)</p> <p>地域包括ケアシステムに向けて地域における介護予防が重要となる。また、予防事業に取り組む場合においてもその改善効果に対する評価が求められる。そこで、介護予防に関して栄養や食事の改善が重要であることから本事業においては、その効果を検証する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>高齢者のフレイル、サルコペニアの予防に関しては、運動と栄養、口腔ケアの重要性がエビデンスとして定着してきている。そこで地域における多職種との連携により栄養改善を行うことで介護予防に繋げる。</p> <p>財源は、委託料及び本会会費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>さいたま市からの依頼により、地域の高齢者に対して介護予防、栄養改善を目的に多職種との協働により行う。</p> <p>対 象：65歳以上のさいたま市民(市内10区で開催) 回 数：2クール 60回(10区×3回×2回) 参加人数： 延べ 173人</p>
	<p>1-7 総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)への協力</p> <p>(概要)</p> <p>市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支えあい体制作りを推進し、要支援者等の方に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指す。</p>

		<p>(意義と必要性) 総合事業では、訪問栄養指導により地域性や家族環境等を考慮し、その方本人や家族の意思を尊重したうえで適切な食事アセスメントに基づいて栄養ケアを実践することにより、介護予防に寄与することができる。 財源は、市町村からの委託料及び本会会費を充てる。</p> <p>(受託先) 川島町訪問C型事業 坂戸市訪問C型事業</p>
公2	疾病の重症化予防や介護予防に関する事業	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーションが地域との連携により生活習慣病の予備軍や傷病者への栄養管理・指導、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業を行ない、対象者の栄養改善とともに生活の質の向上に寄与する。</p> <p>(意義と必要性) 地域包括ケアシステムとの連携により、各自治体、医師会、地域包括支援センター等へ人材バンク登録の管理栄養士・栄養士を紹介することにより、特定保健指導、栄養食事指導、特定高齢者及び一般高齢者介護予防事業などに対応する。 財源は、本会会費を充てる。</p> <p>2-1 栄養食事指導</p> <p>(要旨) 医院及びクリニックにおいて、外来栄養食事指導料が、入院中の患者以外の患者であって、別に厚生労働大臣が定める特別食を医師が必要と認めた者等に対し、当該保険医療機関の管理栄養士が医師の指示に基づき、患者ごとにその生活条件、嗜好を勘案した食事計画案等を必要に応じて交付し療養のため必要な栄養の指導を行った場合に算定できる。 (意義と必要性) 栄養ケア・ステーションの管理栄養士による栄養食事指導が可能となっている。栄養食事指導箋により重症化予防に貢献することができる。 財源は委託料とする。</p> <p>(実施状況) 医院及びクリニック 7ヶ所</p> <p>2-2 介護予防教室</p> <p>(要旨) 高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業を実施し、対象者の栄養改善と共に生活の質の向上に寄与する。</p> <p>(意義と必要性) 介護予防事業を実施することにより高齢者の低栄養改善や重症化予防、健康寿命延伸に繋がり、対象者ができる限り自立した生活を送ることに貢献できる。 財源は本会会費及び委託料を充てる。</p> <p>(実施状況) 2-2-1 宮代町介護予防事業(二次予防) 実施なし 2-2-2 小川町元気アップ教室 (参加人数 8名) 期 日 10月6日(金)、11月10日(金) 場 所 小川町パトリア小川 内 容 栄養講座 担当者 人材バンク</p>

	<p>2-2-3 川越市専門職自主グループ支援に係わる出前講座 期 日 6月～2024年3月 (26ヶ所 参加人数計 612名) 場 所 川越市内 担当者 川越市事業部</p> <p>2-2-4 杉戸町地域リハビリテーション活動支援事業 (延べ参加人数 88名)</p> <p>期 日 9月～2024年3月 場 所 杉戸町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-5 坂戸市フレイル電話栄養相談 (相談件数 11件) 期 日 11月・12月 場 所 坂戸市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-6 坂戸市訪問型サービスC (延べ訪問数 62件) 期 日 4月～2024年3月 場 所 坂戸市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-7 川島町フレイル予防栄養講座 (実施数 28回) 期 日 4月～2024年3月 場 所 川島町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-8 川島町訪問型サービスC (実施件数 17回) 期 日 4月～2024年3月 場 所 川島町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-9 越谷市専門職による介護予防出張講座 (延べ参加人数 231名)</p> <p>期 日 6月～2024年3月 場 所 越谷市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-10 東松山市高齢者保健事業と介護予防一体的事業 期 日 12月28日(木)～2024年1月14日(日) (延べ参加人数 2名) 場 所 東松山市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-11 東松山市管理栄養士同行訪問業務 期 日 7月～10月 (延べ参加人数 13名) 場 所 東松山市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-12 蕨市一般介護予防事業 (延べ参加人数 30名) 期 日 7月5日(水)、2024年2月14日(水) 場 所 蕨市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-12 蓼田市高齢者保健事業と介護予防一体的事業 期 日 7月～2024年3月 場 所 蓼田市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-13 桶川市高齢者保健事業と介護予防一体的事業 期 日 5月～2024年3月 場 所 桶川市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-14 上尾市高齢者保健事業と一体的事業 期 日 7月～1月</p>
--	---

	<p>場 所 上尾市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-15 小川町健康ポイント事業評価業務 期 日 11月～2024年3月 場 所 小川町健康福祉課 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-16 热中症予防レシピ作成及び热中症予防教室 期 日 6月～8月 場 所 川口市、鳩山町 担当者 人材バンク</p> <p>2-3 地域包括ケアシステムへの対応 (要旨) 2015～2017年度厚生労働省栄養ケア活動支援整備事業で設置した栄養ケアユニット及び栄養ケア・ステーションと連携し、さらに拠点の整備を進めていく。この事業を通して県内に拠点を増やすことで地域包括ケアシステムの構築に貢献していくことができる。 (意義と必要性) 埼玉県地域包括ケアシステムと連動した栄養ケアの連携拠点として、県内各地に認定栄養ケア・ステーション(日本栄養士会認定)と地域栄養ケアユニットの設置を目指し、多職種と協働することで県民の疾病の重症化予防、介護予防等栄養改善効果が期待できる。 財源は、契約料または、事業者の負担とする。 (実施状況) 場 所 県内で依頼のあった医療機関、地域包括支援センター等 内 容 訪問栄養食事指導、栄養食事指導、コミュニティにおける栄養改善 その他</p> <p>2-3-1 多職種連携研修会への協力 2-3-1-1 埼玉県多職種地域連携地域包括ケアシステム推進会議 期 日 2024年2月8日(木) 場 所 ロイヤルパインズホテル浦和 出席者 常任理事 関口礼子、川嶋啓子</p> <p>2-3-1-2 北葛北部在宅・介護連携推進会議 期 日 12月22日 場 所 幸手市保健福祉総合センター 担当者 人材バンク</p> <p>2-4 地域包括ケアシステムに関する人材の育成 (要旨) 地域包括ケアシステムの構築に向けて地域栄養ケアシステムの充実が不可欠である。そこで、各拠点である地域栄養ケアユニット、地域認定栄養ケア・ステーションの担当者、および各地域で開催されている自立支援型地域ケア会議の担当者を対象に情報の共有、スキルアップを図り県民の公衆衛生の向上に寄与する。 (意義と必要性) 地域において管理栄養士のニーズは高まっている。地域で多職種と顔の見える関係を構築するためには地域での活動が必要であり、その資質の向上を図ることが急務となる。そこで、それぞれの担当者を対象に情報の共有、スキルアップを目的に開催する。 財源は、本会会費及び受講料を充てる。 (実施状況) 2-4-1 地域栄養ケア会議実務者研修会(再掲) (参加者 29名)</p>
--	---

	<p>企画学術部と共同で実施する (開催予定日及び内容)</p> <p>期 日 7月22・23日(土・日)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>内 容</p> <p>講義 I 認定栄養CS(機能強化型含む)と栄養CUについて (業務委託契約、連携など)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講義 II 地域包括ケアシステム構築に向けて管理栄養士への期待</p> <p>講 師 県福祉部地域包括ケア課 長谷川万由佳</p> <p>講義 III 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施について</p> <p>講 師 国保医療課福祉医療・後期高齢者医療担当 主査 松田美佐子</p> <p>講義 IV 地域における診療報酬・介護保険と県栄養CSとの役割</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 会長 平野孝則</p> <p>講義 V エビデンスに基づいた栄養食事指導の実践 ～特定保健指導を含む～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会 副会長 水野文夫</p> <p>講義 VI 高次脳機能障害患者の特性と食支援</p> <p>講 師 さいたま岩槻病院リハビリテーション科 蝶田知良</p> <p>講義 VII 認定栄養CSの活動の実際と課題</p> <p>報 告 認定栄養CSほほえみーる 管理栄養士 江田真澄会員 認定栄養CS日本調剤毛呂薬局 管理栄養士 高橋美穂会員</p> <p>講義 VIII 自立支援型地域ケア会議の概要と管理栄養士の役割</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会栄養CS部長 川嶋啓子</p> <p>講義 IX 訪問栄養食事指導の実際(演習含む)</p> <p>講 師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子</p> <p>2-4-2 地域ケア会議アドバイザースキルアップ研修会 (参加者 15名)</p> <p>(概要)</p> <p>地域ケア会議アドバイザーの管理栄養を対象にスキルアップを目的として担当者による情報共有及び事例検討会を行う。</p> <p>期 日 10月14日(土)</p> <p>場 所 栄養士会研修室</p> <p>内 容 ・講義 「薬剤による食事への影響」</p> <p>講 師 さいたま市薬剤師会理事 あつみ薬局三橋店 薬剤師 笹川裕之</p> <p>・事例検討会</p> <p>・情報交換</p> <p>2-4-3 地域栄養ケア連携会議 (参加者 26名)</p> <p>(概要)</p> <p>各栄養ケアユニット、認定栄養ケア・ステーションの代表者による情報交換、本会栄養ケア・ステーションとの連携を図ることを目的とし、地域栄養ケア連携会議を開催する。また、地域で活動している管理栄養士・栄養士のマンパワーの確保、および地域における栄養ケアの実施状況把握のため、実態調査を行う。</p> <p>期 日 11月11日(土)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>内 容 各認定栄養ケア・ステーションの活動報告 検討事項・情報交換</p>
--	--

		<p>2-5 人材バンク登録への推奨と地域拠点事業の推進</p> <p>2-5-1 人材バンク登録者数 69名</p> <p>2-5-2 日本栄養士会 認定栄養ケア・ステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人才レンジステーション ・特定非営利活動法人栄養サポートみかん ・特定非営利活動法人ぽけっとステーション ・株式会社マルエツ料理＆カルチャー教室いーとぴあ ・たから薬局東松山店 ・ほほえみーる ・日本調剤(株)わらび薬局 ・日本調剤(株)毛呂薬局 ・(株)パルネオスト ・plusN ・薬局オリーブファーマシー ・リップル ・TOROto ・薬局アポック川越中央 ・健康相談ラボ ・鈴木薬局上尾 ・かくの木 ・おむすびぎるど <p>2-5-3 埼玉県栄養士会 栄養ケアユニット</p> <p>丸木記念福祉メディカルセンター</p> <p>赤心堂病院</p> <p>埼玉精神神経センター</p> <p>籠原病院</p> <p>行田中央総合病院</p> <p>2-6 無料職業紹介</p> <p>(要旨)</p> <p>本会の会報および機関紙、インターネットを活用して、行政、医療、福祉等の施設や事業所より管理栄養士・栄養士の募集を受け付けて公募する。また、会員から就業のニーズがあった場合は公募している施設や事業所等を紹介する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>地域や施設に対して管理栄養士・栄養士を紹介し、採用されることで専門職による適切な栄養管理、栄養指導を行うことにより、県民の栄養改善、重症化予防に貢献することができる。</p> <p>財源は、本会会費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>求人の掲載 31件</p>
共通	栄養ケア・ステーション部会	<p>(要旨)</p> <p>部会の開催により、県民の栄養改善に関する事業を計画的に実施するための企画・調整を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>各事業部及び各事業部と連携し、計画的に会議を行うことで効率的に栄養ケア・ステーション事業を行うことができる。</p> <p>(開催日及び内容)</p> <p>IV-運営に関する会議 表3-5参照</p>

III 事業部事業報告

1. 職域事業部

それぞれの職域に所属する管理栄養士・栄養士を対象に研修会や事例検討会（勉強会）などタイムリーな話題をテーマにした情報の発信に努めた。また、生涯教育の専門分野における実務者研修会を企画するなど管理栄養士・栄養士の専門性を高めるための活動を行った。

これにより、県民に対して効果的に重症化予防や栄養改善に貢献することが重要である。

1-1 医療

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 主に医療機関に勤務する管理栄養士・栄養士をはじめとし、食に関わる職種を対象に業務特性に対応した専門的な知識、技能の研修を行うと共に診療報酬改定等の情報提供を行う。</p> <p>(意義と必要性) 医療・介護に関する制度や業務についての最新の情報提供を行うと共に、グループワーク等の討議を通じて情報を共有し、各施設の管理栄養士・栄養士及び食に関わる関連職種とのネットワークの構築を図ることで、県民の健康・公衆衛生の向上に貢献する。</p> <p>本研修は、管理栄養士・栄養士をはじめ食に関わる関連職種を対象とする。</p> <p>財源は、本会会費と受講料を充てる。</p> <p>(実施状況) 第1回研修会 (参加者 25名) 期日 7月15日(土) 場所 Zoomによるオンライン開催 講演1 「輸液の基礎(水・電解質～静脈栄養)」 必ず、現場で役立つ輸液の基本。再確認してみませんか。 講師 大塚製薬工場 松本 真歩 講演2 「ICU患者管理の理想と現実」 ～ICUでの輸液栄養や経腸栄養の開始、ステップアップなど～ 講師 自治医科大学附属さいたま医療センター救急部 EICU病棟医長・学内講師 安田 英人 参加費 2,000円(会員1,000円) 第2回研修会 (参加者 19名) 期日 12月9日(土) 場所 Zoomによるオンライン開催 内容 「栄養ケア・マネジメント PESの基本を学んで活用しよう!」 (基本必須1単位 8-1) 講師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 医療事業部委員長 前川哲雄 参加費 2,000円(会員1,000円) 第1回コミュニティ広場 (参加者 10名) 期日 5月30日(火) 場所 Zoomによるオンライン開催 内容 「認定管理栄養士・専門管理栄養士の 資格を取ろう！」</p>

		<p>第2回コミュニティ広場</p> <p>期 日 9月19日(火) (参加者 9名)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>内 容 「職場内研修 ～あなたの施設の研修状況を意見交換ましょう～」</p> <p>第3回コミュニティ広場</p> <p>期 日 2024年3月5日(火) (参加者 23名)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>内 容 「最新情報 令和6年診療報酬改定について」</p>
共通	運営委員会	<p>研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-1 参照</p>

1 - 2 学校健康教育

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨)</p> <p>栄養の専門職として、栄養士のスキルを向上するための研修を行い、併せて会員同士のネットワークの構築を目指す。また、埼玉県学校栄養士研究会との連携を図ることで本会に対する理解を深める。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>第4次埼玉県食育推進計画が、埼玉県地域保健医療計画の下位計画と位置づけられたことにより、学校でもより一層栄養バランスに配慮した食生活、健全な食習慣の形成の促進、そして健康寿命の延伸につながる食育を推進する必要がある。学校給食が終了した後の食生活において、自ら健康的な食生活がおくれるよう、長期的な展望を見据えた食育の推進は学校栄養士が中核となって行うべきであるが、一校に一名の配置では無い現在のシステムでは、市町間での人數格差が激しく、地域によっては児童生徒への指導の時間の確保も難しい。学校栄養士としての役割を全うするため。自身の身分向上とスキルアップを目指す。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>第1回研修 (参加者 7名)</p> <p>期 日 2024年2月10日(土)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>内 容 「食に関する指導と学校教育」 (実務1単位47-102)</p> <p>ねらい 教科書を活用して食に関する指導の年間指導計画を見直そう！</p> <p>講 師 城西大学薬学部医療栄養学科非常勤講師・女子栄養大学短期大学部食物栄養学科非常勤講師 島村 幸代</p> <p>参加費 2,000円(会員 1,000円)</p>
共通	運営委員会	<p>研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-2 参照</p>

1 - 3 勤労者支援

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会	<p>(要旨) 給食および中食等の食事提供、健康情報関連、防衛、矯正、ドラッグストア等に勤務する管理栄養士・栄養士が食環境や衛生に関する最新知識と技能を得て、業務の向上を図るために実施する。</p> <p>(意義と必要性) 県内に勤務する勤労者への安心安全な食事の提供や、健康保持・公衆衛生の向上に貢献する。 財源は本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 第1回 勤労者支援事業部研修会 期日 10月28日(土) (参加者 6名) 場所 Zoomによるオンライン開催 内容 特定保健指導のあれこれ 参加費 1,000円 コミュニティ広場 期日 開催なし</p>
共通	運営委員会	研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-3 参照

1 - 4 研究教育

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 研究教育を職域とする会員の最新の学術・技術について、また科学的根拠の蓄積の情報交換として今後の研修会や勉強会の企画・立案を考えて会合を実施する。</p> <p>(意義と必要性) 研究教育職域における専門性の向上と組織強化を図ることに意義がある。埼玉県下の栄養士養成・管理栄養士養成の計8養成施設校が共通の課題を抱えている内容を気軽に交流できる場として研修会を検討していく必要がある。ただし、課題は全国の養成校においても生じることであり、埼玉県に限らず、全国の養成校の情報を取り入れて検討することが必要である。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 第1回研究教育事業部研修会 開催なし</p>
共通	運営委員会	研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-4 参照

1 - 5 公衆衛生

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 県保健所及び市町村保健センター等に勤務する行政栄養士を対象として、国や県、市町村の健康増進・栄養に関し効果的な施策の立案、実施のために必要な知識や技術を身につけより、専門性を高める研修を行う。</p> <p>(意義と必要性) 生涯を通じた健康づくり・栄養改善の推進のため専門性を生かし、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献するために必要な知識や技術を身につける研修が必要である。</p> <p>行政に配属される栄養・管理栄養士は1人配置が多く、栄養士、管理栄養士以外からの職種からのOJT(On the Job Training)を受けざるを得ないため、より専門性を高めるためには、埼玉県栄養士会公衆衛生事業部としての研修が必要である。</p> <p>財源は本会会費と共に団体からの補助とする。</p> <p>(実施状況) 第1回公衆衛生事業部研修会</p> <p>期日 11月18日(土) (参加者 17名)</p> <p>場所 トキタ種苗株式会社本社</p> <p>内容 健康的で持続可能な食をささえる野菜たち</p> <p>講義 「新品種の野菜を学ぶ～五感にうれしいイタリア野菜～」</p> <p>講師 トキタ種苗株式会社 開発普及室普及課 中村 イタリア野菜をはじめ、新品種や機能性の高い野菜の試食</p> <p>第2回公衆衛生事業部研修会</p> <p>期日 2024年2月5日(月) (参加者 45名)</p> <p>場所 埼玉会館</p> <p>内容 ナッジ理論を活用した「食行動・食生活支援」について</p> <p>講師 帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授・研究科長 福田 吉治 演習 ナッジ理論を活用した活動・事業の検討</p> <p>講師 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 博士後期課程 杉本 九実</p> <p>第1回コミュニティ広場</p> <p>期日 8月5日(土) (参加者 21名)</p> <p>場所 ウエスタ川越とZoomによるハイブリッド開催</p> <p>内容 ・栄養管理指導票について ・業務における疑問点 ・その他 情報共有</p> <p>公衆栄養業務を円滑に実施するため、共通課題について意見交換し、会員の資質向上に努めた。</p>
共通	運営委員会	研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-5参照

1 - 6 地域活動

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由等)
公1	研修会	<p>(要旨) 管理栄養士・栄養士としての資質の向上と、知識や技術の向上に関する研修会を実施し、各地域での活動等の情報交換を行う。</p> <p>(意義と必要性) 地域活動栄養士にとって、専門職としての最新の知識や技能の向上を図ることは県民の健康増進、栄養改善、介護予防等の活動を行うことは必要であり、その専門性は県民の健康増進に大いに寄与することができる。 本事業は、管理栄養士、栄養士を対象とした。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 研修会 (参加者 14名) 期日 7月5日(水) 場所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催 内容 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組み 講師 荒川すみ子会員 コミュニティ広場 第1回 (参加者 10名) 期日 7月19日(火) (水) 場所 Zoomによるオンライン開催 内容 世帯格差による子どもの食の実態 第2回 (参加者 8名) 期日 2024年3月1日(金) 場所 Zoomによるオンライン開催 内容 フリーランスの働き方</p>
公2	委託事業の実施	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーションと連携し、県からの委託事業を実施し子どもの食育を図る。</p> <p>(意義と必要性) 専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために係る事は意義がある。幼児・児童の食育の一環として、米粉を使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与した。 本事業は一般県民を対象とし、県内2か所で開催した。</p> <p>(実施状況) 県産米粉を使った親子料理教室(埼玉県米消費拡大推進連絡協議会) 期日 12月9日(土) 場所 吹上生涯学習センター、プラザイーストキッチンスタジオ</p>
共通	運営委員会	<p>上記研修会等の企画、運営を行うために開催した。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-6 参照</p>

1 - 7 福祉

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	(要旨) 栄養士を取り巻く環境や関連する法令等を中心に必要となる知識や技術を習得する。

		<p>(意義と必要性) 福祉施設において必要な情報を共有し、各施設において栄養士業務を円滑に進めことができるように行う。管理栄養士・栄養士の質の向上は適切な食事支援につながり、県民の健康増進に寄与できる。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 福祉事業部研修会</td><td>(参加者 18名)</td></tr> <tr> <td>期 日 10月7日(土)</td><td></td></tr> <tr> <td>場 所 ZoomによるWeb開催</td><td></td></tr> <tr> <td>内 容 栄養ケア・マネジメント実務のために ～導入前・導入後 次期改定に向けて</td><td></td></tr> <tr> <td>講 師 リハパーク舞岡(神奈川県) 荏部 康子</td><td></td></tr> <tr> <td>参加費 2,000円(会員1,000円)</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">コミュニティ広場</td></tr> <tr> <td>第1回</td><td>(参加者 5名)</td></tr> <tr> <td>期 日 7月7日(土)</td><td></td></tr> <tr> <td>場 所 Zoomによるオンライン開催</td><td></td></tr> <tr> <td>内 容 給食に係る食材コストの工夫策について情報交換をしよう</td><td></td></tr> <tr> <td>参加費 無料</td><td></td></tr> <tr> <td>第2回</td><td>(参加者 8名)</td></tr> <tr> <td>期 日 2024年3月10日(日)</td><td></td></tr> <tr> <td>場 所 Zoomによるオンライン開催</td><td></td></tr> <tr> <td>内 容 ①日栄福祉事業部リーダー研修 伝達講習 「2024年度介護報酬改定の概要」について ②多職種協働を考える</td><td></td></tr> <tr> <td>参加費 無料</td><td></td></tr> </table>	第1回 福祉事業部研修会	(参加者 18名)	期 日 10月7日(土)		場 所 ZoomによるWeb開催		内 容 栄養ケア・マネジメント実務のために ～導入前・導入後 次期改定に向けて		講 師 リハパーク舞岡(神奈川県) 荏部 康子		参加費 2,000円(会員1,000円)		コミュニティ広場		第1回	(参加者 5名)	期 日 7月7日(土)		場 所 Zoomによるオンライン開催		内 容 給食に係る食材コストの工夫策について情報交換をしよう		参加費 無料		第2回	(参加者 8名)	期 日 2024年3月10日(日)		場 所 Zoomによるオンライン開催		内 容 ①日栄福祉事業部リーダー研修 伝達講習 「2024年度介護報酬改定の概要」について ②多職種協働を考える		参加費 無料	
第1回 福祉事業部研修会	(参加者 18名)																																			
期 日 10月7日(土)																																				
場 所 ZoomによるWeb開催																																				
内 容 栄養ケア・マネジメント実務のために ～導入前・導入後 次期改定に向けて																																				
講 師 リハパーク舞岡(神奈川県) 荏部 康子																																				
参加費 2,000円(会員1,000円)																																				
コミュニティ広場																																				
第1回	(参加者 5名)																																			
期 日 7月7日(土)																																				
場 所 Zoomによるオンライン開催																																				
内 容 給食に係る食材コストの工夫策について情報交換をしよう																																				
参加費 無料																																				
第2回	(参加者 8名)																																			
期 日 2024年3月10日(日)																																				
場 所 Zoomによるオンライン開催																																				
内 容 ①日栄福祉事業部リーダー研修 伝達講習 「2024年度介護報酬改定の概要」について ②多職種協働を考える																																				
参加費 無料																																				
共通	運営委員会	<p>研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-7参照</p>																																		

2. 地域事業部

県内6地区で構成される地域事業部は、各地域の特性を生かした県民に対する栄養支援活動の拠点（栄養ケア・ステーション）となる。また、近隣の管理栄養士・栄養士が共に学び交流を図ることで、日頃の悩みや業務について相談をすることができる。したがって、職域を超えて、多くの仲間と学び、支え合う場としての活動を行う。

2-1 東部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 地域事業部における各職域の資質や知識、技能の向上に関する研修会を実施する。</p> <p>(意義と必要性) 研修会で得た知識や技術を県民の健康増進に提供できる。 研修会を通じて東部地域の栄養士の情報交換と親睦を図る。また、会員以外への参加者の紹介の場とし、会員増を図る。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p>

		<p>(実施状況)</p> <p>コミュニティ広場の開催</p> <p>期 日 4月7日(金) (参加者 8名)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>テーマ 「栄養指導時の対応について」</p> <p>～特定保健指導を中心に～</p> <p>ファシリテーター 地域活動 高橋順子会員</p> <p>東部地域事業部研修会</p> <p>期 日 2024年2月17日(土) (参加者 21名)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>講 演 居宅療養管理指導事業所とは？</p> <p>米山先生の日々の業務を知る</p> <p>講 師 居宅療養管理指導事業所「地域栄養サポート 自由が丘」</p> <p>管理栄養士 米山久美子</p> <p>参加費 2,000円(会員1,000円)</p>
公2	委託事業の実施	<p>(要旨)</p> <p>栄養ケア・ステーション部と連携し、県により委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康維持・増進のために貢献する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために関わることは意義がある。幼児の食育の一環として、米を使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>財源は委託費とする。</p> <p>(実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産米を使った親子おにぎり教室（埼玉県米消費拡大推進連絡協議会）(新型コロナ感染拡大防止につき中止) ・彩の国食と農林業ドリームフェスタ食生活無料相談（新型コロナ感染拡大防止につき中止）
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。</p> <p>(開催日及び内容)</p> <p>V-運営に関する会議 表5-1 参照</p>

2-2 西部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨)</p> <p>地域事業部における各職域の資質や知識、技能の向上に関する研修会を実施する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に提供できる。</p> <p>研修会を通じて西部地域の栄養士の情報交換と親睦を図る。また、会員以外の参加者への本会の紹介の場とし、会員増を図る。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>研修会</p> <p>実施無し</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。</p> <p>(開催日及び内容)</p> <p>V-運営に関する会議 表5-2 参照</p>

2-3 南部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 職域事業部と連携して、地域に密着した研修事業を行う。また、地域の非会員への参加を促し、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>(意義と必要性) 研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に役立てることができる。また、研修会を通じて各地域の管理栄養士・栄養士や多職種との情報交換と親睦を図ることができる。 今年度は各地域事業部において医療・介護・福祉及び在宅におけるシームレスな栄養ケアの連携を目指して栄養情報提供書について研修会を実施し、地域で顔の見える関係を構築する。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 栄養士のための食育セミナー(さいたま市事業部と合同) 期 日 8月19日(土) (参加者 20名) 場 所 与野本町コミュニティーセンター調理室 講 演 薬膳料理講座 講 師 東京栄養士薬膳研究会代表 海老原英子 参加費 2,000円(会員1,000円)</p>
公2	委託事業の実施	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーションと連携し、県により委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康保持・増進のために貢献する。</p> <p>(意義と必要性) 専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために関わることは意義がある。幼児の食育の一環として、コメを使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与する。 財源は委託費とする。</p> <p>(実施状況) 県産米を使ったおにぎり教室 (埼玉県米消費拡大推進連絡協議会) 実施なし</p>
共通	運営委員会	委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-3参照

2-4 北部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会	<p>(要旨) 地域事業部における各職域の資質や知識、技能の向上に関する研修会を実施する。</p> <p>(意義と必要性) また、研修会を通じて北部地域の栄養士及び他職種との連携を図る。 研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に提供出来る。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p>

		<p>(実施状況)</p> <p>北部地域事業部研修会</p> <p>期 日 2024年3月14日(木)</p> <p>場 所 熊谷地方庁舎(大会議室)</p> <p>講 演 摂食嚥下機能の重要性 ～乳幼児の咀嚼機能から高齢者のオーラルフレイルまで～</p> <p>講 師 熊谷歯科医師会 歯科医師 荒岡千尋</p> <p>参加費 会員1000円 非会員2000円</p> <p>参加者 31名(会員：19名、非会員：12名)</p> <p>コミュニティ広場の開催</p> <p>期 日 8月25日(金)</p> <p>場 所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>テーマ 「新型コロナウイルス、5類になってどうしてる？」 ～困っていること、注意していること、みんなで共有しよう～</p> <p>参加費 無料</p> <p>参加者 14名</p>
公2	歯の相談室	<p>(要旨)</p> <p>第47回歯の相談室、(一社)熊谷市歯科医師会主催のイベントに協力団体として参加し、子供への食育推進を図る。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>地域のイベントに参加し、食育の推進を図ることで、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>財源は、主催団体からの協力金とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>歯の相談室</p> <p>期 日 6月5日(日)</p> <p>場 所 熊谷市母子健康センター</p> <p>参加費 無料</p>
公2	薬と健康フェア	<p>(要旨)</p> <p>第9回薬と健康フェア(一社)熊谷薬剤師会主催のイベントに協力団体として参加し、食育の推進を図ることで、県民の健康保持・増進を図る。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>地域のイベントに参加し、食育の推進を図ることで、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>財源は、本会会費及び主催団体からの協力金とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>薬と健康フェア</p> <p>健康や食に関する正確な情報提供と、豊かな食生活の提案。</p> <p>期 日 6月18日(日)</p> <p>場 所 熊谷市立文化センター文化会館</p> <p>参加費 無料</p> <p>参加者 約180名</p>
公2	地域公開講座	<p>(要旨)</p> <p>各地域事業部で独自または、市町村や他団体との協賛等により、地域性のある栄養セミナー やイベント等を企画立案し、会員が一体となって県民の栄養改善事業を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>公益社団法人としての活動を会員が理解し、共に県民に対し栄養改善に寄与する。</p> <p>財源は、本会会費を充てる。</p>

		<p>(実施状況)</p> <p>米の講演「米について学ぼう」(埼玉県米消費拡大推進連絡協議会) 農業の情勢と米の消費拡大につながる産直運動について。</p> <p>期 日 11月11日(土)</p> <p>場 所 埼玉県製菓専門学校(1階カフェテリア)</p> <p>講 師 城西大学特任准教授 水野文夫</p> <p>参加費 無料</p> <p>参加者 35名</p> <p>第19回 熊谷市産業祭</p> <p>開催日に参加できず辞退</p> <p>彩の国米まつり(2023彩の国食と農林業ドリームフェスタと同時開催) 骨密度測定、食生活や栄養に関する相談コーナー設置</p> <p>期 日 11月25・26日(土・日)</p> <p>場 所 熊谷スポーツ文化公園</p> <p>参加費 無料</p> <p>参加者 200名</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容)</p> <p>V-運営に関する会議 表5-4参照</p>

2-5 さいたま市

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨)</p> <p>職域事業部と連携して、地域に密着した研修事業を行う。また、地域の非会員への参加を促し、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に役立てることができる。また、研修会を通じて各地域の管理栄養士・栄養士や多職種との情報交換と親睦を図ることができる。</p> <p>今年度は各地域事業部において医療・介護・福祉及び在宅におけるシームレスな栄養ケアの連携を目指して栄養情報提供書について研修会を実施し、地域で顔の見える関係を構築する。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>栄養士のための食育セミナー(南部事業部と合同)</p> <p>期 日 8月19日(土) (参加者 20名)</p> <p>場 所 与野本町コミュニティセンター調理室</p> <p>講 演 薬膳料理講座</p> <p>講 師 東京栄養士薬膳研究会代表 海老原英子</p> <p>参加費 2,000円(会員1,000円)</p>
公2	委託事業の実施	<p>(要旨)</p> <p>栄養ケア・ステーションと連携し、県により委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康保持・増進のために貢献する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために関わることは意義がある。幼児の食育の一環として、コメを使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>財源は委託費とする。</p>

		(実施状況) 県産米を使ったおにぎり教室（埼玉県米消費拡大推進連絡協議会） 期 日 10月25日(水) 場 所 あおぞら保育園 (参加者 35名) 期 日 10月27日(金) 場 所 あおぞら ウィンクルム保育園 (参加者 44名)
共通	運営委員会	委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-5 参照

2-6 川越市

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	1 川越市事業部研修会 (要旨) 地域事業部における各職域の資質や知識、技能の向上に関する研修会を実施する。 (意義と必要性) 研修会において知識、技能の習得や情報を共有することで、会員相互の交流や各施設での管理栄養士・栄養士業務を円滑に進める一助となる。また、生活習慣病予防や介護予防につながり県民の健康の維持増進に寄与する。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。 (実施状況) 介護予防事業出前講座育成研修会 (要旨) 川越市より委託された専門職派遣による介護予防「主グループ支援事業、出前講座を実施する講師育成研修会。 (意義と必要性) 川越市介護予防事業を受託するにあたり、統一した内容で質の高い講義を確保するため研修を行う。川越市のみならず栄養士会の研修として実施することにより潜在栄養士の発掘につながる。 財源は本会会費と参加費を充てる。 (実施状況) (開催予定日及び内容) 研修会 実施無し
公2	委託事業の実施	2-1 川越市介護予防自主グループへの出前講座 (要旨) 川越市より委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康保持・増進のために貢献する。 (事業概要) 川越市介護予防自主グループへの専門職派遣による出前講座を実施する。介護予防事業として対象者の栄養改善とともに自立支援を行う事業。

		<p>(意義と必要性) 自主グループの活動場所で講義をすることにより、講師と高齢者との距離が近く、会話および質問等が気楽にでき知識を深められる。 出前講座講師育成研修会を終了した管理栄養士を派遣することにより潜在栄養士の活躍に繋がる。 財源は、委託費を充てる。</p> <p>(実施状況) 内容 介護予防 地域コミュニティ出前講座 (参加者 338名) 地域ケア会議 アドバイザー派遣</p> <p>2-2 川越市自立支援型地域ケア会議アドバイザー派遣 (延べ人数 12名) 実施日 毎月第3金曜 担当者 川越市事業部より派遣</p> <p>2-3 第11回川越市医療介護フォーラム参加(川越事業部 4名) 期 日 10月29日 場 所 ウエスタ川越 (延べ人数 300名)</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-5参照</p>

V 運営に関する会議

1. 理事会及び常任理事会

表1 理事会の開催

開催場所 埼玉県栄養士会研修室

回	期 日	主 な 内 容	出席人数
1	4.22	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2022年度事業報告及収支決算書について 2. 監査報告 3. 総会の開催について(告示、展示 役割分担など) 4. JDA-DATFollowUP研修について 5. 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会要望書について 6. 川島町・川越市・蓮田市・八潮市地域ケア会議派遣依頼について 7. 宮代町栄養講座の講師について 8. 蕨市介護予防事業講師派遣について 9. 杉戸町地域リハビリテーション講座の依頼 10. 障がい者交流センター料理教室の講師について 11. 彩の国コミュニティ協議会監事の推薦について 12. 後援について 13. 栄養ワンダーについて 14. 環境省令和5年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業 15. 事業計画 企画学術部 各事業部 16. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る協力について 17. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各部進捗状況報告 2. 会員数の推移 3. 第2回埼玉県地域リハビリテーション推進協議会 4. 埼玉県摂食・嚥下研究会令和5年度第1回作業委員会 	11/18

2	5.20	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総会運営について 2. 後援名義使用申請 第8回コモOLS研究会 3. 50周年記念誌発行について 4. 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会令和5年度要望書について 5. 埼玉県連携協議会構成員の推薦について(県感染対策課) 6. 埼玉県地域保健医療計画推進協議会下部部会の埼玉県在宅医療部会の委員推薦について(県医療整備課) 7. 理事辞任届、運営委員変更について 8. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各部進捗状況報告 2. 第1回諮問会議報告 開催日：5月13日 3. 生涯教育担当者会議報告 開催日：5月14日 4. その他 	15/17
3	7. 1	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後援名義使用申請 糖尿病教育セミナー後援依頼 2. コバトン健康メニュー・リレーシー募集審査員の推薦について 3. 全国植樹祭専門委員会委員の推薦について 4. 東松山市令和5年度高齢者の保健事業と介護予防の一定的事業実施に係る関係者全体会議の開催について 5. 理学療法士会50周年記念誌への祝辞依頼について 6. 事業計画書について 7. 2023年度健康増進普及月間の実施について 8. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総会報告及び反省 2. 日本栄養士会総会報告 3. Follow-up研修会報告 4. 各部進捗状況報告 5. その他 	18/16
4	9.16	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後援について <ul style="list-style-type: none"> ①彩の国連携力プロジェクト「緩和ケアIPW研修会」10月22日 ②第2回さいたまスポーツ栄養勉強会(認定栄養CS PlusN) 11月19日(日) 会場 大宮市民会館 ③第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 2024年1月6日(土)・7日(日) 2. 日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願い 3. 米の講演 (埼玉県米消費拡大推進連絡協議会委託事業) 開催日時 11月11日(土)10:00～ 開催場所 埼玉県製菓専門学校 4. 彩の国米まつりについて 開催日 11月25・26日(土・日) 開催場所 熊谷運動公園 内 容 骨密度測定、栄養相談 担当 北部事業部 5. 各事業部事業計画書 6. 2023年度ケアラ一月間について 7. その他 	

		報告事項 1. 各部進捗状況報告 2. 第1回生涯教育研修会アンケート 3. 50周年記念誌進捗報告 4. 厚労大臣表彰について 5. 熊谷保健所管区域難病対策地域協議会委員について 6. 栄養ワンダー報告 7. その他 被留置者糧食カロリーハンダ分析報告書について	12/16
5	12.16	協議事項 1. 「健康づくり提唱のつどい」の参加勧奨及び運営について 参加申込 12月8日 現在21名申込 2. 2024年新年賀詞交歓会の開催について 開催日時 2024年1月20日(土) 開催場所 ロイヤルパインズホテル浦和4Fロイヤルプリンセス 3. 日栄委託事業、日栄職域について 委託事業：植物油 4. 選挙管理委員会の設置について 5. 2024年度事業計画について 6. その他 報告事項 1. 生涯教育検討委員会報告 2. 各部進捗状況報告 3. 50周年記念誌進捗報告 4. 小児アレルギー連携セミナーの後援について 開催日 11月30日(木) 開催場所 大宮ソニックシティビル 参加120名 (医師52名・看護師23名・栄養士22名・薬剤師11名・助産師8名・保健師3名・その他1名) 形態：WEB95名・現地25名 5. 管理栄養士の派遣について 開催日 10月7日(土) 開催場所 (株)日本標準 6. 慢性腎臓病予防研修会(CKD)講師について 埼玉県健康長寿課 開催日 2024年1月18日(木)場所 県庁周辺の会議室 7. 米の講演、米まつり報告 米の講演 開催日11月11日(土) 場所 埼玉県製菓専門学校 参加数35名 米まつり 開催日 11月25・26日(土・日) 場所 熊谷運動公園 骨密度計測数 200名 8. 県庁オープンデー	13/16
6	2024. 3. 9	協議事項 1. 2024年度公開講座開催(案)について 2. 2024年度事業計画について 3. 2024年度通常総会スケジュール 4. 選挙管理委員会開催について 5. 人間総合科学大学卒業式来賓について 6. 講師依頼について(株)日さく、蕨市 7. 福祉事業部・地域活動事業部計画書 8. 未来につなぐ風景執筆依頼(日本栄養士会) 9. 第3回埼玉スポーツ栄養勉強会の後援について 10. 構成員の推薦について(浦和医師会) 11. 賛助会員入会について 再入会 (株)LEOC、キリンビバレッジ、 12. 委員の推薦(2件) 13. 2024年度知事表彰推薦について 14. その他	15/16

		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 埼玉県立ち入り検査結果報告 2. 支援金送金について(121,000円) 3. 後援名義使用報告書 4. 京浜地区会議報告 5. その他 	
--	--	---	--

表2 常任理事会の開催

開催場所：栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催

回	期日	主な内容	出席人数
1	8.5	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後援名義使用について <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会 ・全国糖尿病週間の公園について 2. 各事業部報告 3. 法人50周年記念誌の発行について 4. 講師依頼(越谷青年会議所) 5. 米の講演会、米まつりについて 6. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度第2回京浜地区会議報告 7月31日(月)当番県 2. 熱中症事業報告 3. 医療事業部アンケート、実務者研修アンケート 4. その他 	8/8
2	10.19	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児アレルギー連携セミナーの後援について (大塚製薬㈱大宮支店) <ul style="list-style-type: none"> 開催日時 11月30日(木) 開催場所 ソニックスシティビル 4F 多目的ホール402・402会議室 2. 管理栄養士の派遣について 株福島食品 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時 10月7日(土) 会場 (株)日本標準 3. 慢性腎臓病予防研修会(CKD)) <ul style="list-style-type: none"> 開催日時 2024年1月18日(木) 場所 県庁周辺の会議室 4. 新年賀詞交換会の開催について 5. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 50周年記念誌の経過報告 2. その他 	8/8
3	11.20	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2024年新年賀詞交換会運営について <ul style="list-style-type: none"> 開催日 2024年1月21日(土) 場所 ロイヤルパインズホテル浦和 4F ロイヤルプリンセス 2. 各部からの提案事項 <ul style="list-style-type: none"> ①総務部②企画学術部③組織部④栄養CS部⑤広報部 3. 第3回生涯教育研修会開催について 4. その他 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回生涯教育研修会報告 <ul style="list-style-type: none"> 期日 10月28日(土) 会場 十文字女子学園大学 参加数 68名(うち会場参加16名)+学生16名 	8/8

		<p>2. 米の講演会報告 11月11日(土) 会 場：埼玉県製菓専門学校</p> <p>3. 2023年度地域栄養ケア連携会議 11月11日(土) 会 場 本会研修室 認定栄養ケア・ステーション 16件 栄養ケア・ユニット 5件</p> <p>4. 県民の日イベント報告 11月14日 埼玉県庁</p> <p>5. 50周年記念誌の経過報告</p> <p>6. その他</p>	
4	2024. 1.15	<p>協議事項</p> <p>1. 2024年賀詞交歓会の開催について</p> <p>2. さいたま市地域包括支援センター運営協議会委員の推薦について (在任期間6年以内・女性委員の推薦)</p> <p>3. 一般社団法人日本栄養士実践科学戦略機構設立祝賀会について 2月17日(土) 帝国ホテル → 災害のため中止</p> <p>4. 登半島地震に係る災害支援募金協力について</p> <p>5. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 50周年記念誌について</p> <p>2. 能登半島地震に係る支援について ・1月13・14・15日(土・日・月)本会より JDA-DATリーダー3名 出動</p> <p>3. JDA-DAT基本研修会 講師変更 災害対策課芦邊主幹→災害対策課主事 田口彩也子氏に変更</p> <p>4. その他</p>	5 / 8
5	2024. 2.18	<p>協議事項</p> <p>1. 2024年度公開講座開催(案)について</p> <p>2. 2024年度事業計画について 予算案について</p> <p>3. 2024年度通常総会スケジュールについて</p> <p>4. 選挙管理委員会開催について</p> <p>5. 人間総合科学技術大学卒業式来賓について</p> <p>6. 講師依頼について</p> <p>7. 福祉事業部・地域活動事業部計画書について</p> <p>8. 日本栄養士会からのリレーエッセイ執筆依頼</p> <p>9. 研修会後援依頼について</p> <p>10. 委員の推薦について(2件)</p> <p>11. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 埼玉県立ち入り検査結果報告</p> <p>2. 日本栄養士会支援金送金について</p> <p>3. 後援名義使用報告書</p> <p>4. 京浜地区会議報告</p> <p>5. その他</p>	

表3 業務部 運営委員会の開催

表3-1 総務部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	6.10	Web会議	・総務部運営・Follow up研修会	4/4
2	7.1	栄養士会研修室	・基本研修会、JDA-DAT賛助会員との協定	4/4
3	9.16	栄養士会研修室	・50周年記念誌についてJDA-DAT基本研修	4/4
4	10.17-20	メール会議	・県庁オープンデーについて	4/4
5	12.1-10	メール会議	・川口イオン防災F E Sについて	4/4
6	2024.1.20	ロイヤルパインズ浦和	・JDA-DAT基本研修について	4/4

表3-2 企画学術部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	7.1	栄養士会研修室	第1回・第2回生涯教育研修会、ファーストステップ研修会について	3/3
2	9.16	栄養士会研修室	第1回生涯教育研修会振り返り、第2回・第3回・第4回生涯教育研修会、2024年度生涯教育研修会検討委員会に向けて	3/3
3	12.16	栄養士会研修室	第2回生涯教育研修会振り返り、2024年度生涯教育研修会検討委員会のまとめ	3/3
4	2024.3.9	栄養士会研修室	第4回生涯教育研修会振り返り、2024年度生涯教育研修会	3/3

表3-3 広報部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	6.29	栄養士会研修室	広報部運営について	3/3
2	9.16	栄養士会研修室	いしづえ、埼栄ニュース、SNSについて	2/3
3	12.12	Web会議	いしづえ、埼栄ニュース、SNSについて	3/3
4	2024.3.9	栄養士会研修室	2024年度事業計画	3/3

表3-4 組織部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	6.20	Web会議	組織部運営・会員増対策について	2/4
2	7.1	事務局	入会者、出身校調査について	2/4
3	10.4	Web会議	会員動向の把握について	3/4
4	11.2	Web会議	養成校入会案内配布依頼について	3/4
5	11.21～12.5	メール会議	養成校入会案内配布依頼について	4/4
6	1.19	Web会議	2024年度事業計画について	3/4
7	3.9	事務局	2024年度事業計画について	3/4

表3-5 栄養ケア・ステーション部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	6.30	Line会議	2023年度事業内容について	3/3
2	8.31	Line会議	ケア会議アドバイザースキルアップ研修会の件	3/3
3	9.22	Line電話会議	地域栄養ケア連携会議について	3/3
4	2024.1.18	Line電話会議	2024年度市民健康栄養講座内容検討	3/3
5	2024.3.8	Line会議	2024年度事業計画	3/3

表4 職域事業部 運営委員会の開催

表4-1 医療事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	5.30	Web会議	2023年度事業、全国リーダー研修会京浜ブロック会議の情報共有をZOOM上で行った。 コミュニティ広場の運営について打ち合わせた。	5／5
2	6.27	Web会議	第1回研修会の打ち合わせと情報共有 次回コミュニティ広場テーマについて	4／5
3	9.19	Web会議	コミュニティ広場の運営について打ち合わせた	3／5
4	2024. 1.19	Web会議	2024年度の事業計画案について 全国リーダー研修会京浜ブロック会議打合せ	5／5

表4-2 学校健康教育事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	2024. 2. 3	メール会議	研修会の開催について	5／5

表4-3 勤労者支援事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	10.28	Web会議	・事業部研修会の運営について ・事業部活動について	3／5
2	11.25	Web会議	・事業部運営委員について	3／5
3	2024. 1.12	メール会議	・来期事業部運営委員について	3／5

表4-4 研究教育事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
			開催なし（2023年度事業についての検討、情報の伝達はメールにより行った）	

表4-5 公衆衛生事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	11. 7	トキタ種苗株式会社 ロイヤルパインズホ	2024年度事業について	6／10
2	2024. 1.20	テルロビー	2024年度事業及び運営委員について	6／10

表4-6 地域活動事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	7. 5	栄養士会研修室	2023年度の事業内容について	5／8
2	11.21	メール会議	生涯教育検討、全国ブロック会議報告等	8／8
3	2024. 1.20	ロイヤルパインズH	事業部統合について、コミュニティ広場の件	6／8
4	2024. 2. 1	メール会議	新事業部の来年度事業及び運営委員選出等	8／8

表4-7 福祉事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	7. 6	さいたま市	第1回新年度打ち合わせ 今年度の運営方針などについて	6 / 7
2	7. 7	Web会議	第1回Zoomを活用したコミュニティ広場の反省について	
3	10. 7	Web会議	第1回研修会の反省について 今後の活動予定について	5 / 7
4	2024. 1. 20	さいたま市	第2回Zoomを活用したコミュニティ広場の進め方について 次年度の事業計画・日程について	3 / 7
5	2024. 3. 10	Web会議	時期運営委員について 次年度の事業計画について 医療事業部との合同研修の進め方について	2 / 7

表5 地域事業部 運営委員会の開催

表5-1 東部地域事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	4. 7	Web会議	コミュニティ広場の反省と今年度の研修について	7 / 7
2	6.30	Web会議	今年度の研修会内容について	6 / 7
3	2024. 2. 17	Web会議	研修会の反省と今後の東部運営委員の活動について	6 / 7

表5-2 西部地域事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	4.19	メール会議	総会について	5 / 5
2	9.12	メール会議	研修会について	5 / 5
3	11.30	メール会議	研修会について	5 / 5
4	12.13	メール会議	研修会及び診療報酬改訂などについて	5 / 5

表5-3 南部地域事業部（さいたま市市事業部と合同）

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	7.28	シーノ大宮内桜木公民館学習室	2023年度事業計画案について 運営委員体制について	2 / 2
2	2024. 3. 15	Web会議	2024年度事業計画について	1 / 2

表5-4 北部地域事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	4.28	Web会議	歯相談室、薬健康フェア、コミュニティ広場	5 / 10
2	5. 8	Web会議	歯相談室、薬健康フェア、コミュニティ広場	8 / 10
3	7.14	Web会議	理事会報告、事業計画等、コミュニティ広場	6 / 10
4	8.25	Web会議	熊歯90年、米講話、米まつり、北部研修会	7 / 10
5	10.20	Web会議	熊歯90年、米講話、米まつり、北部研修会	5 / 10
9	2024. 3. 7	Web会議	北部地域事業部研修会について、次年度計画	7 / 10

表5-5 さいたま市地域事業部（南部市事業部と合同）

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	7.28	シーノ大宮内桜木公民館学習室	2023年度事業計画・運営委員体制について	4／6
2	8.19	与野本町コミュニティセンター	2024年度研修会計画 研修会振り返り	3／6
3	2024.3.15	Web会議	2024年度事業計画について	3／6

表5-6 川越市地域事業部

回	期日	開催場所	主な内容	出席人数
1	4.1	Web会議	運営委員交代紹介等	8／8
2	7.24	Web会議	2023年事業について	8／8
3	8.25	ウエスター川越	令和5年度医療介護フォーラムについて	6／8
4	10.29	Web会議	医療介護フォーラム	4／8
5	2024.1.26		2024年度事業計画	8／8

表6 監事による監査会の開催

期日	場所	主な内容	参加人数
4.22	栄養士会研修室	2022年度事業執行状況について 2022年度収入支出決算書について	監事2名 会長 副会長 事務局長 総務部長

V 賛助会員の展示

件名	年月日	出展数
第11回定期総会	6月9日	23社

VI 日本栄養士会関係会議への参加

主な内容	月日	場所	出席者
日本栄養士会定時総会	6月26日	Web開催	代議員
第1回諮問会議 第2回諮問会議	5月13日 2024年2月17日	Web会議	会長
第1回京浜地区会長会議 (行政・連盟合同) 第2回京浜地区会長会議	7月31日 2024年1月29日	事務専 Web会議	会長、連盟支部長、 事務局長
第1回生涯教育研修会担当者会議 第2回生涯教育研修会担当者会議	5月14日 11月12日	Web会議 Web会議	副会長・担当理事
JDA-DAT運営委員会	8月6日	Web会議	副会長・担当理事
公衆衛生事業部 全国リーダー育成研修会	4月22日	Web開催	事業部委員長

医療事業部 全国リーダー育成研修会 医療事業部 第1回京浜地区リーダー育成研修会 医療事業部 第2回京浜地区リーダー育成研修会	4月15日・16日 8月26日 2024年2月23日	Web開催	事業部委員長 運営委員
京浜地区第1回 学校健康教育事業部リーダー会議 京浜地区第2回 学校健康教育事業部リーダー会議 学校健康教育 全国リーダー研修会	6月19日 10月2日 2024年1月21日	Web開催 Web会議	事業部委員長
勤労者支援事業部 全国リーダー育成研修会	12月19日	Web開催	事業部運営委員
研究教育事業部 全国リーダー育成研修会	2024年2月4日	Web開催	事業部副委員長
京浜ブロック 福祉事業部リーダー会議 京浜ブロック 第1回福祉事業部 VCS 京浜ブロック 第2回福祉事業部 VCS 福祉職域全国リーダー研修会	8月5日 7月31日 10月30日 2024年2月23日	Web開催 Web会議	事業部委員
地域活動事業部 全国ブロック会議	10月28日	Web開催	事業部委員長
2023年度全国栄養士大会並びに栄養改善大会	7月8日～8月7日	Web開催	会員
全国栄養ケア・センターリーダー研修会	2024年1月14日	Web開催	常任理事

VII 会員の動向と顕彰

1. 年度別会員の推移

1-1 会員の推移

1-1-1 会員

2024年3月31日現在

種別 年度	会員				
	入会	継続	埼玉会員	名誉会員	計
2022年度	137人	1,351人	4人	2人	1,492人
2023年度	130人	1,347人	3人	2人	1,482人

1-1-2 賛助会員

種別 年度	会員		
	入会	継続	計
2022年度	2社	61社	63社
2023年度	1社	58社	59社

種別 年度	医療	学校健康 教育	勤労者 支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
2022年度	654人	55人	61人	81人	111人	204人	329人	1,495人
2023年度	658人	52人	72人	73人	115人	194人	318人	1,482人
対前年増減比	4人	-3人	11人	-8人	4人	-10人	-11人	-13人

VII 関係官庁及び諸団体の施策遂行に対する行事への協力活動

(2023年度)

月 日	主 な 内 容	場 所	出 席 者
4月9日 11月9日 2024年 2月25日	埼玉県摂食嚥下研究会 作業部会 第41回講演会 第42回講演会	Web会議(文書審議) 彩の国すこやかプラザ	会長
4月～3月	被留置者糧食カロリー分析(四半期)	埼玉県内	人材バンク
5月9日 6月7日	彩の国コミュニティ協議会 監査会 定期総会	埼玉県庁内 さいたま商工会議所会館	会長
5月22日	埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会 第53回通常総会	さいたま商工会議所	事務局長
5月25日	さいたま市健康づくり・食育推進協議会	さいたま市役所内	常任理事
5月25日 10月22日 12月14日	彩の国連携育成プロジェクト 第10回意見交換会 緩和ケアIPW研修会 第11回意見交換会	Web会議	副会長 常任理事 会員
6月13日	埼玉県米消費拡大推進連絡協議会 第47回通常総会	さいたま商工会議所会館	事務局長
6月13日 9月8日	埼玉県食育推進検討会議(2回)	埼玉会館 Web会議	会長
6月30日 12月22日	北葛北部在宅医療・介護連携推進会(2回)	ウェルス幸手	人材バンク
7月13日 2024年 3月6日	第1,2回埼玉県地域保健医療計画推進協議会 在宅医療部会	さいたま共済会館 Web会議	会長
7月21日	2023年度近いがうまい埼玉産 地産地消推進会議	Web会議	会長
7月～1月	地方公共団体における効果的な熱中症対策の 推進に係るモデル事業	川口市、鳩山町	事務局長 人材バンク
9月13日	埼玉版FEMA図上訓練	埼玉県防災センター	常任理事
9月～11月 10月23日	埼玉県牛乳普及協会 家庭科授業での栄養講座 第44回料理コンクール埼玉県大会	県内県立高校5ヵ所 埼玉県栄養専門学校	人材バンク 会長
6月～12月	コバトン健康メニュー	埼玉県内	人材バンク
11月29日	第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会 埼玉県 魅力発信専門委員会(第1回)	埼玉県衛生会館	常任理事

2024年 3月26日	埼玉県地域リハビリテーション推進協議会	Web会議	会長
----------------	---------------------	-------	----

Ⅹ 各自治体および諸団体等に対する栄養改善事業への協力

(2023年度)

月 日	主 な 内 容	場 所	出 席 者
4月～3月	越谷市介護予防出前講座	越谷市内	人材バンク
4月～3月 (四半期毎)	被留置者食事栄養分析	埼玉県栄養士会	人材バンク
5月9日	株日さく講習会 骨粗じょう症予防を目指す食事	オンライン	常任理事
5月～3月	桶川市保健事業と介護予防一体的事業	桶川市内	人材バンク
6月14, 27日	JA健康で風土に合った食生活研修会(2日間)	JA埼玉県中央会	人材バンク
6月～8月	熱中症予防モデル事業	川口市内・鳩山町内	人材バンク
6月～1月	上尾市保健事業と介護予防一体的事業	上尾市内	人材バンク
6月～1月	埼玉県障害者交流センター 料理教室 (栄養を学ぶ)(計3回)	埼玉県障害者交流センター	人材バンク
7月～12月	杉戸町地域リハビリテーション支援事業(6回)	杉戸町内	人材バンク
7月, 2月	一般介護予防事業講師 栄養改善について	蕨市内	人材バンク
7月～3月	蓮田市保健事業と介護予防一体的事業	蓮田市内	人材バンク
8月29日	消費生活講座 食品表示について	桶川市	人材バンク
8月29日 2024年 1月16日	川越市第1, 2回ウェルビーイングを考える検討会	川越市内	理事 会員
9月29日	JA埼玉県女性組織協議会	埼玉県信連浦和分館	人材バンク
10月24日	女性のための料理教室講師	入間市	会員
10月29日	第11回川越市医療介護フォーラム	川越市内	川越市事業 部
10月～3月	小川町元気アップ教室(2日間)	小川町健康福祉センター パトリアおがわ	人材バンク
11月14日	県庁オープンデー JDA-DAT号展示	埼玉県庁	常任理事・ 理事
2024年 1月18日	慢性腎臓病予防研修会講師	埼玉県健康長寿課	会員
2024年 2月8日	埼玉県地域包括ケアシステム推進会議	ロイヤルパインズホテル 浦和	常任理事
2月21, 22日	ニュータウンビルサービス株講習会 保育園給食におけるアレルギーへの取組について	川口市青木会館	人材バンク
2月29日	加須市保健所管内食生活改善推進員研修会	埼玉県加須保健所	人材バンク
通年	地域ケア会議アドバイザーの派遣	(開催市、町) 鴻巣市、行田市、新座市 川越市、寄居町、長瀬町 羽生市、川口市、蓮田市 白岡市、鳩山町、八潮市 川島町、深谷市、熊谷市 東松山市、さいたま市 蕨市、越生町、毛呂山町 北本市、戸田市、朝霞市 三郷市	人材バンク

通年	坂戸市訪問型サービスC事業	坂戸市内	人材バンク
通年	東松山市管理栄養士同行訪問業務 フレイル予防講師	東松山市内	人材バンク
通年	川島町介護予防日常生活支援事業 川島町訪問サービスC事業	川島町	人材バンク
通年	東松山市在宅診療所業務委託	東松山市在宅診療所	人材バンク
通年	高梨クリニック業務委託	高梨クリニック	人材バンク
通年	専門職派遣による出前講座 (計18回)	川越市内	人材バンク
通年	登坂医院栄養指導	登坂医院	人材バンク

X 会員及び県民に関連情報を提供する活動

事業名	回数	発行日	備考
会報「いしづえ」の発行	2	9月15日 2024年2月20日	No.163 No.164
埼玉ニュース発行	5	4月28日 10月20日 6月30日 12月10日 8月1日	2023年度 No.85～No.89

XI 本会推薦及び後援諸団体関係

1. 埼玉県及び関連諸団体役員

団体役職名	委嘱者
埼玉県米消費拡大推進連絡協議会 委員	会長
彩の国コミュニティ協議会 監事	会長
埼玉県食育推進検討会議 委員長	会長
第44回牛乳・乳製品利用料理コンクール審査委員長 第44回牛乳・乳製品利用料理コンクール審査委員	会長 人材バンク
さいたま市食育推進協議会委員	理事
埼玉県留置施設視察委員会委員	常任理事
さいたま市地域包括支援センター運営協議会委員 さいたま市見沼区地域包括支援センター連絡会委員	常任理事
埼玉県摂食嚥下研究会 理事	会長
日本栄養士会栄養ケア・ステーション認定委員会委員 日本栄養士会栄養ケア・ステーション推進委員会委員	常任理事
熊谷保健所管内難病対策地域協議会委員	理事
日本栄養士会選任決議管理委員会委員	理事
日本栄養士会選任決議立会人	常任理事
埼玉県脳卒中・心臓病・その他の循環器病対策推進協議会部会委員 脳卒中担当、心疾患担当	常任理事
埼玉県感染対症対策連携協議会	常任理事
全国植樹祭実行委員会専門委員	常任理事

2. 本会後援協力の諸団体について

内 容	月 日	団 体 名
第36, 37回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会	4月14日 10月6日	埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会
第1, 2回さいたまスポーツ栄養勉強会	6月11日 11月19日	plus N(プラスエヌ)認定栄養ケアステーション
第30回埼玉糖尿病教育セミナー 埼玉県糖尿病相談員第6期生認定講習会 第59回全国糖尿病週間行事	7月1日 10月15日 10月～11月	埼玉県糖尿病協会
第10回日本在宅栄養管理学会学術集会	7月15～16日	(一社)日本在宅栄養管理学会
第8回埼玉ロコモOLS研究会	7月22日	埼玉ロコモOLS研究会
第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会	10月14～15日	関東甲信越ブロック理学療法士学会
彩の国連携育成プロジェクト 「緩和ケアIPW研修会」	10月22日	彩の国連携育成プロジェクト
炎症性腸疾患 市民公開講座	11月11日	ヤンセンファーマ(株)
小児アレルギー連携セミナー	11月30日	大塚製薬(株)大宮支店
第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2024年1月6日～7日	(一社)日本スポーツ理学療法学会

3. 公益社団法人日本栄養士会関係

3-1 代議員

(2022～2023年度)

氏 名	勤 務 先
平野 孝則	埼玉医科大学病院
水野 文夫	城西大学
前川 哲雄	埼玉県立がんセンター
川嶋 啓子	
関口 礼子	埼玉精神神経センター
小川実登里	
中山 順子	

3-2 選任決議管理委員会

(2022～2023年度)

氏 名	職 名	勤務先
加藤 章子	選任決議委員会委員	大崎むつみの里
丸山 新人	選任決議立会人	老人保健施設さんとめ

3-3 職域推進委員

(2022～2023年度)

氏 名	職 名	勤務先
加藤 耕平	学校健康教育	新座市立第二中学校
村山 美紀	医療	埼玉医科大学病院

3-4 JDA-DATリーダー育成研修会 修了者

年度	人 数	修 了 者 名
2012	3	池田玲子 草刈恵津子 山本眞由美
2016	11	斎藤幸生 佐々木奈々 小嶋京子 平野孝則 山口はるみ 前川哲雄 森實亜貴子 武井牧子 加納陽子 海老原千尋 堀寛恵
2017	2	上野友利江 石川勝也
2018	3	今木幹子 大水博子 西川えみ

2019	2	大原満代 吉田圭子
2020	12	小川実登里 加藤章子 木村留理 関口礼子 田村真紀 竹下美穂 時田美恵子 野澤智子 野村知恵子 堀由美子 水野文夫 山崎章子
2021	2	菊地宏尚 村山美紀
2022	2	丸山新人 仲野歩
2023	4	小河原佳子 山崎仁史 古賀希 品田幸恵

総計 41名

3-5 JDA-DATリーダースキルアップ研修会 修了者

年度	人数	修了者名
2020	2	山口はるみ 大原満代
2021	2	野澤智子 前川哲雄
2022	1	関口礼子
2023	2	竹下美穂 木村留理

総計 7名

3-6 JDA-DATリーダー育成研修会 基本プログラム修了者

※JDA-DATリーダー研修会受講のための研修会（2012年度以降）

年度	人数	修了者名
2012	5	島村郁子 山田恵子 永井美紀 永井一枝 川合玲子
2015	13	上野友利江 武井牧子 村田雅美 小嶋京子 中辻治子 岡野治恵 川嶋啓子 草刈恵津子 平野孝則 水野文夫 森實亜貴子 原田由美子 深谷静香
2016	12	石川勝也 井上朝美 上野友利江 大熊和江 大野恵津子 岡野治恵 川嶋啓子 佐藤直美 田村真紀 堀江尚子 森田春美 吉田直美
2017	21	今木幹子 遠藤典子 沖みち代 小田島京子 加藤章子 加藤旬 菊地宏尚 小池由起 関口礼子 辻博子 塚田晶子 名倉美佐 西川えみ 平栗美紀 穂積美彩 宮間千鶴子 内田嘉奈子 元島洋子 山崎章子 山本綾香 横原夢見
2018	17	井原翔 今木幹子 大原満代 角屋智代 流石順子 鈴木恵美 竹内邦恵 竹下美穂 中辻治子 野澤智子 野村知恵子 平野孝則 堀口さやか 前川哲雄 水野文夫 内田嘉奈子 吉田圭子
2020	21	大西未歩 小川実登里 大平千鶴 小河原佳子 加藤章子 木村留理 菊地宏尚 佐藤恵理子 柴崎千裕 関口礼子 時田美恵子 仲野歩 原島菜美 丸山新人 宮永美佐子 村山美紀 森真希 山口美月 和多勝弘 安藤夏美 川嶋啓子
2021	25	新井春那 稲田満里菜 飯塙里奈 大野尚子 奥田節子 川崎喜代美 岸田厚子 工藤志帆 小林信子 先前ひとみ 櫻井原代 佐藤真由 白井涼子 須長典子 田島友美 時田美恵子 永井美紀 中山由香里 古川光恵 増満隆倫 山崎仁史 山崎美由紀 吉田理恵 岩本珠美
2022	14	奥山奈央 園山薫 品田幸恵 丸山新人 金澤弘子 猪野瀬渚 加納陽子 石田美枝 古賀希 新井悟 小熊雅美 小松佑綺 菊地宏尚 坂井麻来
2023	23	泉はぎの 石塚史華 井原翔 内田嘉奈子 大根田夏佳 春日千翔 岸田今日子 小島杏里 古賀希 三大寺美佳 清水望冬 島村郁子 集貝里江 武田友紀子 中司なつみ 中村悟子 西村早織 野島まり 堀江尚子 本多繭羽 丸山聰子 村手未来子 森本容子 渡邊真紀

総計 151名